

第七十四回帝國議會
衆議院

映畫法案外一件委員會會議錄(速記)第三回

付託議案
映畫法案(政府提出)
著作權ニ關スル仲介業務ニ關スル
法律案(政府提出)

會議

昭和十四年三月十三日(月曜日)午前十時三十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 星島 二郎君

理事福田 悌夫君 理事岩瀬 亮君

理事小泉 純也君 理事増永 元也君

鶴見 祐輔君 坂下仙一郎君

小林 三郎君 伊藤 五郎君

野口 喜一君 江羅直三郎君

木村 正義君 赤松 克麿君

三木 武夫君

三月十一日著作權ニ關スル仲介業務ニ關スル法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 男爵荒木 貞夫君

內務大臣 侯爵木戸 幸一君

外務大臣 有田 八郎君

出席政府委員左ノ如シ

外務政務次官 清水留三郎君

內務政務次官 漢那 憲和君

內務參與官 中井 一夫君

內務書記官 町村 金吾君

文部參與官 野中 徹也君

文部省社會教育局長 田中 重之君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

映畫法案(政府提出)

著作權ニ關スル仲介業務ニ關スル法律案

(政府提出)

○星島委員長 ソレデハ前會ニ引續イテ再會致シマス、本委員會ニ併託サレマシタル

著作權ニ關スル仲介業務ニ關スル法律案ノ

政府ノ説明ヲ聽キマシテ、御説明ダケデ引

續イテ映畫法ノ質疑ニ歸リタイト思ヒマ

ス、一應政府ノ御説明ヲ御願シマス

○漢那政府委員 著作權ニ關スル仲介業務

ニ關スル法律案ノ提案理由及ビ法案ノ内容

ニ付キマシテハ、先般本會議ニ於テ大體申

上ダテ置キマシタガ、此ノ際更ニ具體的ニ

申上ダタイト存ジマス

我國ニ於キマシテハ、著作權ヲ尊重スルノ觀

念ガ比較的ニ乏シク、爲ニ著作權ノ利益ガ害

セラル場合ガ尠クナイノデアリマス、併シナガ

ラ文化ノ向上ト發展ヲ圖ル爲ニハ、著作權ノ

權利ヲ擁護スルノ必要アルハ茲ニ申上ゲルマ

デモナイコトト存ズルノデゴザイマス、又我

國デハ海外ノ著作物ヲ使用スル場合ガ相當

多イノデゴザイマスガ、一ツハ歐米カラ地
理的ニ遠隔ノ地ニ在リマシテ、外國ノ著作
者ト交渉スルノニ甚ダ不便デアルト云フコ
トト、モウ一ツハ外國トハ社會的事情ヲ異

ニシテ居ルト云フコトガ原因トナリマシ

テ、我國デハ海外ノ著作物ヲ利用致シマス

ルニハ、色々ト不便ガアルノデゴザイマス、

左様ナ關係デ海外ノ著作物ヲ利用スル交渉

モ圓滿ニ進行セズ、勢ヒ種々遺憾ナル事態

ヲ發生致シテ居ルト云フ狀況デゴザイマス

ガ、斯ノ如キハ我國文化ノ發展ノ爲ニ極メ

テ憂フベキ事デハナイカト存ズルノデアリ

マス、斯様ナ實情ニ鑑ミマシテ、著作權ノ

利益ヲ尊重シ著作物ノ利用ヲ簡易ナラシメ

ンガ爲ニ、堅實ナル著作物利用ノ仲介機關

ノ發達ヲ促スコトガ、此ノ際甚ダ必要ナコ

トデハナイカト考ヘルノデゴザイマシテ、

此ノ見地ヨリ著作物ノ利用ノ仲介ヲ爲ス者

ヲ適當ニ制限シ、而シテ之ニ指導ト監督ト

ヲ加ヘンガ爲ニ、茲ニ本案ヲ提出スルニ至

ツタ次第デゴザイマス

本法案ヲ立案スルニ付キマシテハ、終始

著作家ノ團體ト連絡協議致シマシテ、十分

其ノ意嚮ヲ尊重シ、之ヲ案ノ内容ニ採用致

シテ居ルノデゴザイマシテ、民間ノ是等關
係團體ニ於キマシテモ、此ノ法案ノ成立ヲ
熱心ニ希望シテ居ルト云フ實情ニ在ルノデ
ゴザイマス

今其ノ内容ノ主要ナル點ヲ申上ゲマスレ

バ第一ノ點ハ著作物ノ利用ニ關スル仲介

業務ヲ行ヒマスル者ヲ許可制度ニスルト云

フコトデゴザイマス、即チ斯様ナ業務ヲ行

ヒマスル者ヲ適當ニ制限シ、而シテ其ノ發

達ヲ促シ、又一面ニ於キマシテ監督ヲ加ヘ

ンガ爲ニハ、此ノ許可制度ト云フコトガ最

モ適切ナル方法デハナカラウカト考ヘテ居

ル次第デゴザイマス、仲介業者ガ取扱フ著

作物ノ範圍ハ別ニ勅令ヲ以テ定メルコトニ

ナツテ居ルノデアリマシテ、即チ其ノ勅令

ニ定メラレタ範圍内ノ著作物ノ利用ノ仲介

業務ヲ爲ス場合ニ於テハ許可ヲ要スルコト

ニナルノデゴザイマス、尙ホ著作物ノ範圍

ハ、種々ノ理由カラ大體文藝及ビ音樂ノ範

圍ニ屬スル著作物ニ限ラレルノデハナカラ

ウカト考ヘテ居リマス

第二ノ點ハ、著作權ノ信託ノ引受ヲ業ト

シテ行フ者モ亦、之ヲ著作權ニ關スル仲介

業務ト看做シ、本法ノ適用ヲ受クルコトニ

致シタコトデアリマス、現ニ世上デ行ハレテ居リマスル著作権ニ關スル仲介業務ヲ觀察致シマスルニ、多クハ信託ノ方法ニ依ツテ著作物ヲ管理シテ居ルノデアリマシテ、外國ノ實例等ニ徴シマシテモ、此ノ仲介業務ヨリ信託ヲ除外致シマスルコトハ、立案ノ趣旨ヲ没却スル虞ガアルノデゴザイマス、斯様ナ必要ニ基キマシテ此ノ規定ヲ設ケルコトニシタ次第デゴザイマス

第三ノ點ハ、著作物ノ使用料ヲ定メルニ付キマシテ主務大臣ノ認可ヲ必要ト致シタコトデゴザイマス、著作物ノ利用ニ關スル主要ナル問題ノ一ツハ、此ノ著作物ノ使用料如何ト云フ點デゴザイマシテ、是ガ當不當ハ文化ノ普及ト云フ見地カラ最モ考慮ヲ要スル問題デゴザイマス、著作権者ト著作物ノ利用者トハ一見利害相反スルガ如キ立場ニアリナガラ、尙ホ兩者ハ最モ緊密ナル提携ト協調トヲ要スルモノデアリマスルガ故ニ、其ノ利害ヲ調和シ、著作物利用ノ圓滑ヲ期スルガ爲ニ、著作物ノ使用料ニ適當ナル監督ヲ加ヘルコトハ必要缺クベカラザル事柄トナツテ參ルノデゴザイマス、著作物ノ使用料規程ニ付認可制度ヲ設ケマシタノハ、此ノ趣旨ニ外ナラナイノデゴザイマス

第四ノ點ハ、著作物使用料ノ認可ニ際シ

マシテ、著作権審査會ニ諮問スルト云フコトデゴザイマス、其ノ及ボス所ノ影響ノ大ナルニ鑑ミマシテ、認可ニ關シ特ニ慎重ヲ期スルト云フ趣旨デゴザイマス

第五ノ點ハ、著作物ノ使用料ニ付利害關係人ガ意見ノ具申ヲ爲シ得ル規定ヲ設ケタコトデゴザイマス、即チ著作権者ノ申請シタル著作物ノ使用料ニ關シ、著作物ノ利用者ニモ十分ニ意見ヲ申述ブル機會ヲ與ヘマシテ、以テ公平妥當ナル著作物使用料ヲ定メントスル目的ニ出デタノデゴザイマス、次ニ第六ノ點ハ、仲介業務ヲ爲ス者ニ對スル主務大臣ノ監督ニ關スル規定ヲ設ケタコトデゴザイマシテ、是ハ一般ノ事業監督ニ關スル例ニ據ツタモノデアリマシテ、特ニ申上ゲルマデモナイト存ジマス

尙ホ最後ノ點ハ法律ニ違反シテ仲介業務ヲ爲シタル者其ノ法律ニ違反シタル者ヲ處罰スル規定ヲ設ケタコトデゴザイマスガ、是モ特ニ申上ゲル程ノコトモナイカト存ジマス

以上大體著作権ニ關スル仲介業務ニ關スル法律案ノ要項ヲ御説明申上ゲタ次第デゴザイマスガ、何卒御審議ノ上可決アランコトヲ切望致シマス

○星島委員長 本案ハ暫ク後廻シニ致シマ

シテ、映畫法ニ關スル質疑ノ繼續ヲ致シタイト思ヒマス——鶴見祐輔君

○鶴見委員 私ハ内務大臣ニ御質疑ヲ致シタイト思ヒマス

○星島委員長 ソレデハ鶴見サンノ御質問ハ大臣ガ見エルマデ暫ク措イテ、他ニ政府委員ニ對スル御質疑モナイヤウデアリマスカラ、委員長ヨリ二三御尋シタイト思ヒマス、本法ハ文化立法カ産業立法カト申シマスレバ、無論是ハ主管ノ性質カラ見マシテ、文化立法ト思フノデアリマスケレドモ、多分ニ産業的ナモノガ加味サレテ居ルヤウニ思フノデアリマス、例ヘバ日本「フィルム」ノ獎勵ト云フヤウナコトニ付キマシテ、先般赤松君カラ一寸御尋ガアリマシタガ、詰リ生「フィルム」ノ製造ニ對シマシテモ、商工省ハ相當今之ニ對シテ考ヘテ居ラレルヤウデアリマスガ、此ノ法案ニ付キマシテ、商工省竝ニ大藏省トドノ程度ニ御交渉ガアツテ、將來産業的の面ニ起リマス問題ニ付キマシテ、ドウ云フ程度ノ連鎖ガ今後アルノデアリマセウカ、詰リ私ノ御伺シタイ點ハ、輸入ハ主トシテ大藏省ガ取扱ツテ居ラレル、サウスルト假ニ外國映畫ノ輸入ノ「フィルム」ノ制限ニ關シマシテモ、大藏當局ト餘程濃イ關係ガ出テ來ナケレバ

ナラヌト思フノデアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ御伺シタイ、尙ホ本法ガ施行サレマシタ後ニ於キマシテハ、假ニ一例ヲ以テ言ヒマスレバ、外國映畫ノ輸入或ハ日本映畫ノ輸出ニ當リマシテハ、先般モ寺尾貿易局長ガ此處ニ御臨席ニナリマシタガ、是ハ假ニ配給業者或ハ販賣業者ガ組合ヲ作ル場合ニ於キマシテ、本法ノ趣旨カラ見マスレバ、内務省ノ監督ニナルヤウニモ思ハレルノデスガ、貿易組合法ナドノ關係ヲ見マスレバ、商工省ノ所管ニモ屬スルヤウニ思フノデスガ、是等ノ點ニ付キマシテ詳シイ内容ヲ伺ヒタイト思フノデス

○町村政府委員 只今ノ御尋ニナリマシタ諸般ノ點ニ付キマシテハ、商工省ナリ、大藏省等ニ實ハ本法制定ニ至リマスルマデ相當ニ協議ヲ續ケテ參ツタノデアリマス、大體此ノ法案ハ御承知ノ通り色々ノ觀點ニ立ツテ立案サレテ居ルノデアリマスガ、主トシテ産業的ノ方面ハ、此ノ法案カラハ除外スルト云フヤウナ考ヘ方ニ立脚致シマシテ立案サレテ居ルノデアリマス、隨テ第一ニ御尋ニナリマシタ生「フィルム」工業ノ問題ノ如キニ付キマシテハ、商工省ト私ノ方トハ相當ニ協議ハ重ネテ居ルノデアリマスケレドモ、御承知ノ通り商工省ニ於テハ、我

國ニ於ケル生「フィルム」工業ノ確立ノ爲ニ
從前カラ相當御努力ニ相成ツテ居ルノデア
リマス、マダ其ノ内容ニ於キマシテ、或ハ
量ニ於キマシテ十分我國ノ需要ヲ完全ニ満
タス程度ニマデハ進ンデ居ラナイノデアリ
マスケレドモ、茲ニ輸入ノ制限ニ當面致シ
マシテ非常ナ勢ヲ以テ當該ノ會社ニ於キマ
シテ努力ヲサレテ居リマスノデ、恐ラク遠
カラザル將來ニ於テ我國ニ於ケル生「フイ
ルム」工業ノ問題ハ解決サレルニ至ルデア
ラウト云フコトヲ、商工省當局ニ於テ言明
シテオキデニナルヤウデアリマス、私共モ
大體ソレヲ信ジマシテ今後商工省方面ト一
層緊密ノ連繫ヲ取リマシテ、業界ノ發展ニ
援助致シテ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノ
デゴザイマス

ソレカラ尙ホ次ノ大藏省トノ關係、殊ニ
輸入ノ許可ノ問題ニ關聯致シマシテ、映畫
法デ考ヘテ居リマス配給ノ制限ノ問題ト
ハ、見様ニ依リマシテハ殆ド内容ヲ等シ
クスルモノトモ考ヘラレルノデアリマス、
御承知ノ通り今日ノ時局下ニ於キマシテ
ハ、爲替管理ノ發動ニ依リマシテ、外國
映畫ノ輸入ハ非常ニ強ク制限ヲサレテ居
ルノデアリマス、事變ノ始マリマシタ當
初ニ於キマシテハ、當分外國映畫ノ輸入ハ恐

ラク禁止サレルノデハアルマイカト云フ風
ニ考ヘテ居ツタノデアリマシテ、其ノ後ノ
事情ノ變遷ニ依リマシテ、或ル程度ノ輸入
ガ許可ヲサレタト云フヤウナコトニナツテ
居ルノデアリマス、是ト配給ノ制限ノ問題
ハ結局スル所非常ニ關係ガ深いデアリマ
ス、内務省ガ此ノ法案ノ運用ニ當リマシテ
ハ、爲替管理法ノ發動サレテ居リマス間ニ
於キマシテハ、大藏省ト特ニ密接ナ連繫ヲ
取ツテ参ラナケレバナラスト考ヘテ居リマ
スシ、尙又假ニ爲替管理法ノ制限ガ今日以
上ニ緩和サレタ場合ニ於キマシテモ、當然
大藏省當局トハ十分連繫ヲ取ツテ参ラナケ
レバナラスコトハ申スマデモナイ次第デア
リマス、今後斯様ナ問題ニ付キマシテ關係
各省トノ關係ヲ最モ圓滑ニ致シマシテ、業
者ニ與ヘル不便ト云フヤウナモノモ出來得
ル限り少ク致シマス爲ニ、吾々ト致シマシ
テハ、各關係官廳ニ於キマシテ當該事務ヲ
取扱ツテ居リマス者ノ謂ハバ連絡委員會ト
云フヤウナモノヲ、本法ノ運用ニ當リマシテ
ハ設置致シマシテ、此ノ連絡委員會ヲ十分圓
滑ニ活用致シマシテ、斯様ナ問題ニ付キマシ
テ各省岐レ／＼ニナツテ居ルコトカラ起リ
マスル諸般ノ障礙ト云フモノヲ除去致スコ
トニ努メタイト考ヘテ居ルノデアリマス

尙ホ貿易協會ノ御話ガアツタノデゴザイ
マスガ、此ノ點ハ私カラ御答申上グルコト
ハ何如カと思ツテ居リマス、恐ラク商工省
ノ御考ト致シマシテハ、斯様ナ組合ニ關係
致シマスコトハ商工省ガ之ヲ專管サレルト
云フコトニナルと思フノデアリマス、事實
配給制限ト關聯致シマシテ、内務省ト致シ
マシテモ實質的ニハ之ニ關與スルコトニ相
成リマスノデ、此ノ點ニ付キマシテモ、先
程申上ゲマシタ連絡委員會等ヲ活用致シマ
シテ、十分商工省トノ關係ヲ圓滑ニ致シテ
参リ、業者ノ不便ヲ出來ル限り少ク致シタ
イ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○星島委員長 尙ホ此ノ點ニ付キマシテハ
續イテ質問申シタイノデアリマスケレドモ、
只今内務大臣ガ御出席ニナリマシタカラ、
鶴見君ニ發言ヲ許シマス

十分之ヲ認メルノデアリマス、故ニ私ハ本
法案ノ成立ヲ衷心カラ希望スルモノデアリ
マス、併シナガラ斯ノ如キ重要ナル法案デ
アリマスルガ故ニ、私ハ内務大臣カラ明瞭
ニ御伺ヲ致シテ置キタイ一點ガアルノデア
リマス、其ノ事ヲ御伺致シテカラデナケレ
バ、本法案ノ逐條的ナ審議ヲ致シテモ餘リ
意味ガナイカト思ヒマスノデ、此ノ點ニ付
テ先ヅ御伺ヲ致シテ置キタイノデアリマス、
ソレハ何デアアルカト申シマス、映畫ト云
フ文字ガ日本ニ於テハ甚ダ不幸ナルコトニ
ハマダ多少遊戲的ナモノト云フ考ヲ持タレ
テ居リマス爲ニ、映畫ガ持ツテ居リマス社
會的ノ重要性ト云フモノガ十分ニ認識サレ
テ居ナイと思フノデアリマス、併シナガラ
申スマデモナク映畫ハ印刷事業、即チ新聞
雜誌、單行本、次イデハ「ラデオ」、是ト相
竝ンデ一ツノ國ノ文化ヲ創造シ、思想ヲ交
換シ、或ハ經濟、軍事、國策ノ全般ノ完成
ノ上ニ洵ニ重大ナ役割ヲ果シテ居ル機關デ
アリマスガ故ニ、映畫ニ關スル政府ノ政策
ト云フモノハ、或ハ新聞ニ對スル政策、
「ラデオ」ニ對スル政策、或ハ只今御説明ヲ戴
キマシタ著作權ニ對スル政策ト相竝ンデ、
洵ニ其ノ國家ノ根本的ナ國策ヲ形成スルモ
ノト思フノデアリマス、デアリマスカラ映

畫法ト云フモノガ議會ニ提出ヲサレテ制度
化サレマス爲ニハ、其ノ前提條件トシテ其
ノ國家ノ映畫國策ト云フモノガハツキリ決
ツテ居ラナケレバナライモノト思フノデ
アリマス、現ニ歐米各國ニ於キマシテハ、
又支那ニ於テスラ、映畫ニ關スル國策ガ積
極的ニ決ツテ居リ、如何ニシテ映畫ヲ利用
シテ、其ノ國ノ文化ヲ向上セシメ、教育ヲ
普及シ、或ハ其ノ國ノ産業ヲ振興スルカ、
各般ニ互リマシテ、其ノ國策ノ決定ヲ致ス
是ガ爲ノ特別ノ機關スラ出來テ居ルド思フ
ノデアリマス、故ニ今日ノ日本ノ東亞新秩
序建設ト云フ偉大ナ事業ニ邁進シテ居ル此
ノ際ハ、殊ニ新興ノ業デアアル映畫ニ對シ、
國家トシテハ明瞭ナル國策ヲ決定致スベキ
モノデアルト思フノデアリマス、斯ノ如キ
國策ガ定ツテ居ツテ、之ニ必要デアアル所ノ
映畫法ト云フモノガ制定セラレルノガ順序
デアルト私共ハ考ヘルノデアリマスガ、本
法律案ノ内容ヲ見マス、積極的ナ規定ト
見ルベキモノハ洵ニ二三ニ過ギナイト思フ
ノデアリマス、例ヘバ良キ映畫ハ之ヲ選奨
スル、或ハ文化的ニ價值ノアル映畫ハ之ヲ
強制的ニ上映セシメルト云フ二點ヲ除キマ
シテハ、特ニ積極性ノ見ルベキモノガア
ルトハ思ハレナイノデアリマシテ、大體

ニ於テ本法律ハ消極的ナ性質ヲ持ツテ居
ル所ノ取締規定デアルト斯様ニ考ヘラレル
ノデアリマス、現内閣成立以來直ニ議會
ニ當面ヲ致サレタノデアリマスカラ、
根本的ニ國策ヲ檢討樹立サレル邊ノナカツ
タコトハ吾々モ深く之ヲ諒ト致シマス、又本
法立案者ノ間ニ於カレマシテ映畫法ニ一步デ
モ早く之ヲ進メテ置キタイト云フ精神ノ爲ニ
本法ヲ提出サレタノデアラウト云フコトハ
勿論之ヲ深く多ト致シマス、併シ映畫自身
ノ社會的、政治的、經濟的ノ重要性ト云フ
モノヲ十分ニ御認識ニナツテ居ルノデアアル
ナラバ、何レカノ時期ニ於テ根本的ナ映畫
國策ト云フモノガ決定サレネバナラズ又映
畫國策ヲ實行スル所ノ政府ノ機構ガ新シク
出來上ラナケレバナライモノト思フノデ
アリマス、又斯クアルコトヲ私ハ衷心カラ
希望致スノデアリマス、隨テ此ノ觀點カラ
致シマシテ私ノ内務大臣ニ御同致シタイコ
トハ、映畫ノ重要性ヲ十分ニ御認メニナツ
テ居ルカ否カラ御同致シタイ、其ノ事ニ付
テノ御聲明ヲ伺ヒタイ、サウシテ若シ映畫
ノ新聞紙或ハ「ラヂオ」ト相並ブ重要性ヲ御
認メニナルノデアアルナラバ、其ノ映畫國策ト
云フモノハ早晚作ラナケレバナラヌモノデ
アルト云フ御考ヲ持ツノデアアルカドウカラ

御同致シタイ、サウシテ第三ニ若シ其ノ二
ツノ點ニ於テノ御意見ガデアリマスカラバ、
本法案ハ其ノ根本的ナ映畫國策ノ決定マデ
ノ過渡的ノ規定デアアル、映畫ニ對スル法
制ノ完備ヲ要スルガ故ニ、一日モ之ヲ忽
セニスルヲ得ナイカラ、本法案ハドウシ
テモ成立サスベキモノデアツテ、此ノ映
畫法ダケヲ以テ満足ヲ致スベキモノデハ
ナイト思ヒマス、此ノ點ニ關シテ先ヅ内務
大臣ノ御考ヲ伺ツテ置キタイト思フノデア
リマス

○木戸國務大臣 映畫國策ニ付テノ御尋デ
アリマスガ、映畫ハ御話ノ通り政府ト致シ
マシテモ、新聞或ハ「ラヂオ」等ト同様ニ、極
メテ重要ナル國民文化ノ創造ニ寄與シテ居
ルト考ヘテ居リマス、ノミナラズ、映畫ガ
眼ニ依ツテ人心ニ與ヘマスル刺激ハ、場合
ニ依ツテハ新聞其ノ他ノモノヨリ更ニ非常
ニ強イノデアリマス、隨ヒマシテ映畫ガ健
全ヲ發達フシテ、國民文化ニ寄與スルコト
ノ極メテ必要ナコトハ認メテ居ル次第デア
リマス、大體ニ於キマシテ、只今鶴見サン
ノ御述ベニナリマシタコトハ、全ク私共ノ
考ヘテ居ルコトト同様デアリマス、唯此ノ
法案ガ、サウ云フ見地カラ致シマシテ、過
渡的ノ立法デアアルカト云フ御尋ニ付テハ、
政府ハ必ズシモサウ考ヘテ居ナイノデアリ
マス成程、一寸御覽ニナリマス、此ノ
法案ハ極メテ消極的ニ見エルノデアリマス
ガ、映畫國策ヲ樹立致シマスニ付テノ根幹
トシテハ、今日ノ時期ニ於テハ兎モ角モ此
ノ法ヲ以テ相當ノ效果ヲ擧ゲ得ルモノト考
ヘテ居リマス、ト申シマスノハ、映畫製造
業及ビ配給業ノ今マデノ成立カラ見マシテ
モ、是等ニ對シテハ相當ノ整備モ致サナケ
レバナラズ、統合、合理化モシナケレバナ
ラヌ點ガアルノデアリマス、是等ト相俟チ
マシテ、其ノ目標ハ、本法案ノ第一條ニ掲
ゲマシタヤウニ、國民文化ノ進展ニ置イテ
居ルノデアリマスカラ、漸次映畫國策ガ進
展致シマシテ、或ル種ノ段階ニ達シマシタ
場合ニ於テ、本法案ノ不備ヲ補ヒ、或ハ法
律ニ依ラズシテ他ノ方法ニ依リ、映畫ヲ更
ニ更ニ高イ標準ニ上ゲテ行クコトハ、常ニ
政府ノ努メル所デアリマス、差當リ是等ノ
規定ヲ以テ、映畫國策ト申シマス、映畫
ノ製造、配給業ノ根幹ト爲シテ居ルト云フ
意味ニ於テ、過渡的デアルトハ考ヘテ居ナ
イ次第デアリマス、唯一刻モ早く此ノ法律
ヲ作リマシテ、其ノ基礎ノ上ニ今後有ユル
其ノ他ノ方法ヲ考ヘマシテ、映畫ノ健全ナ
ル發達、隨テ國民文化ノ進展ニ寄與シヨウ、

斯ウ考ヘテ居ル次第アリマス

○鶴見委員 過渡的ト云フ文字ニ私ハ拘泥

致ス譯デハアリマセスガ、本法案ニ依ツテ將來益、映畫國策完成ノ過程ノ上ニ貢獻セシムルト云フ御考デアアルコトハ分ツタノデアリマス、併シ私ノ所期致シマス映畫國策ト云フモノハ、本法案ニ出テ居ルヤウナ程度ノモノデハナイノデアリマス、只今御話ノヤウニ、日本ニ於テハ映畫製造業者或ハ興行者ノ亂立ノ弊ヲ見テ居リ、又基礎モ薄弱デアアルカラ、本法案成立ニ依ツテ是等ノ者ガ次第ニ併合セラレ、是ヨリ鞏固ナル業者ガ發生スルデアラウト云フ意味ノ御答辯ガアリマシタガ、其ノ意味ニ於テハ、本法案ハ非常ニ役立ツデアラウト思フノデアリマス、併シナガラ映畫ノ將來ヲ考ヘテ見マスト、果シテ映畫ガ民間ノ自由企業トシテ放任セラルベキモノデアアルカ、或ハ完全ナ政府ノ事業トシテ經營セラルベキモノデアアルカ、或ハ其ノ中間ヲ行ク半官半民ノ制度ニ依ルカ、丁度伊太利ノ「リニエーチエ」ガヤツテ居リマシヤウナ、半官半民ノ制度ニ依ツテ、是ガ健全ナ發達ヲ所期スベキモノデアアルト云フヤウナ根本的對策ハ、何レ決定ヲサレナケレバナライカト思フノデアリマス、尙ホ私ハ逐條的ノ質問ノ際申上ゲル積リデ

アリマセスガ、其ノ映畫ノ監督、即チ檢閲ニ依ル監督ナドニ至リマシテモ、將來此ノ國策ガ決定シテ參ルト、非常ニ重大ナコトニナツテ參ルト思ヒマス、監督如何ニ依ツテハ、映畫ヲ通ジテ其ノ國民ノ文化及ビ思想ヲ指導スルコトガ出來ルヤウナ位置ニナルノデアリマスカラ、只今内務大臣ノ、映畫ハ眼ニ依ル刺戟デ、寧ロ新聞ヨリモ強ク刺戟ヲスルト云フ點ヲ御認メニナツタコトハ、洵ニ私ハ此ノ映畫ノ本質ニ付テノ御諒解アル御答辯ト喜ブノデアリマス、斯ノ如キモノデアリマセスガ故ニ、此ノ映畫ノ監督、映畫ノ檢閲ガ國民文化ヲ指導スル、或ハ國民ノ思想ヲ指導スル非常ニ重要性ヲ持ツテ參リマス、ソレハ單純ナル小サイ機構デハ中々シ難イノデアリマス、私ノ映畫ノ根本國策ト申シマシタノハ、此ノ法律ヲ段々ニ改正スルダケデハ、國策ノ遂行ガ出來ナイコトニナツテ來ルノデハナイカ、ソレハ餘リニ明瞭デアアルカラ、私ハ本案ヲ輕視スル意味ニ於テ過渡的ト申上ゲタノデハナイノデアリマス、ドウシテモ本法案ノ如キモノガ必要デアアルガ、映畫國策ハヨリ廣キ基礎ノ上ニ建設セラレナケレバナライカトモノデアアルコトノ御諒解ヲ得レバ、私ノ只今ノ第一ノ質問ノ趣旨ハ徹底スルノデアリマス、

ソレニ付テモウ一度御答辯ヲ煩シタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 只今御話ノ點ハ十分了承致シマシタ、要スルニ今日ノヤウナ企業會社デ之ヲヤツテ居ツテハ到底イカスノデ、最後ニ至レバ何等カノ統制ヲ持ツタ強力ナル國策會社ニスルトカ、或ハ只今御話ノヤウナ半官半民ノモノニスルト云フ御考デアリマスガ、ソレ等ニ付テハサウ云フ御意見モ隨分アルコトヲ私共モ承知シテ居リマスシ、ソレガ行キ方ノ一ツデアルトモ考ヘラレルノデアリマス、唯今日政府ト致シマシテハ、ソコマデノ所謂國策ノ決定ヲ致シテ居ル次第デアリマセス、唯見透シト致シマシテ、サウ云フ御意見ノアリマスノハ十分尊重シテ考慮シタイト思ヒマス、根本ニ於キマシテ映畫ガ重要デアリ、國民文化ノ進展ニ對スル役割ニ付テノ鶴見サンノ御意見ニハ、全然同感ナノデアリマス

○鶴見委員 只今ノ御答辯デ、私ハ大體此ノ點ニ關スル質問ハ満足致シマス

第二ニ内務大臣ニ御伺致シタイト思ヒマスコトハ、本法案ノ中ニハ出テ居リマセスガ、非常ニ重要ナ點デアリマスカラ内務大臣ニ御伺ヲ致シテ置キタイノデアリマス、ソレハ何デアアルカト申シマスト、日本ノ放

送事業ハ、「ラヂオ」ヲ逸早く政府ノ統制ノ下ニ造ラレマシタ爲ニ、例ヘバ亞米利加ニ於ケルガ如キ弊害モナク、洵ニ結構デアツタト考ヘテ居ルノデアリマス、即チ日本ノ「ラヂオ」ハ政治ト廣告ヲ禁ジテ、ソレ以外ノ文化的、教育的、或ハ社會娛樂的ノ目的ニ使ハレテ居ルコトハ非常ニ結構デアルト思フノデアリマス、併シナガラ同時ニ「ラヂオ」ノ一重要機能ガソレガ爲ニ妨ゲラレテ居ル、ソレハ何デアアルカト云フト、日本ノ「ラヂオ」ハ全然政治カラ切離サレテシマツテ居ルト云フ點デアリマス、即チ時ノ政府、總理大臣ガ施政方針ノ如キモノヲ御發表ニナル以外ハ、政治的ニ、之ヲ利用サセテ居ラナイ、總理大臣ノ施設方針モ政治演說ナノデアリマスカラ、政府ダケハ「ラヂオ」ヲ使ヘルケレドモ、政府以外ノ者ニハ「ラヂオ」ハ全然使ヘナイ事情ニナツテ居ル、然ルニ亞米利加、獨逸、伊太利、佛蘭西等ニ於キマシテハ、政治的ニ最モ之ヲ有効的ニ使ツテ居リマスル爲ニ、國民ノ政治的ノ教育ヲ向上シ或ハ又政治的ノ問題ノ理解ヲ進メテ居ルト思フノデアリマス、之ト同ジヤウニ映畫ガ政治的ニ用ヒテ效果ガアルコトハ、「ラヂオ」以上デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、現ニ亞米利加ノ大統領「ルーズベルト」

ト云フ人ハ殆下亞米利加ノ歴史始マツテ以來ノ壓倒的ナ勝利ヲ以テ當選致シマシタ、其ノ大半ノ理由ハ彼ガ「ラヂオ」演説ガ上手デアル、殊ニ映畫ノ中ニ現ハレテ來ル彼ノ演説ト表情ガ非常ニ良イコトガ彼ノ地位ヲ作ツテ居ルト思フノデアリマスガ、若シ此ノ映畫法ノ規定ガ非常ニ嚴格ニナリマシテ、政治ニ關スルモノハ全然之ヲ利用サスコトハ出來ナイ、即チ政治以外ノ文化的ノモノ、娛樂的ノモノダケニ之ヲ使ハスノダト云フ方針ガ、餘リニ嚴格ニナツテ參リマス、此ノ映畫自身ノ持つテ居ル非常ニ重大ナ社會的使命ノ一班ヲ失フコトニナルノデハナイカ、「ラヂオ」ノ場合ニ於キマシテハ、之ヲ政治ニ利用スルト云フコトニハ非常ニ取締上ノ困難ガアルノデアリマス、即チ話ス人ガ話ス時マデハ何ヲ話スカ分ラナイカラ取締ルコトガ困難デアリマス、映畫ニ至ツテハ之ヲ映畫ニ作ツテ後ニ當局者ニ於テ之ヲ檢閲シテカラ一般公衆ニ見セテモ善イカ惡イカ決定スルノデアリマスカラ無害ナル所ノモノト考ヘラルル場合ニハ、政治上ノ目的ニモ映畫ヲ許スト云フコトノ方ガ、國民ノ政治教育ノ上カラ申シマシテモ、或ハ國策ヲ國民ニ徹底セシメル上カラ見マシテモ、非常ニ大切ナコトデアラウト

思フノデアリマス、是ハ本法ノ條項ノ中ニハ現ハレテ居ラナイコトデアリマスガ、從來ノ「ラヂオ」ニ對スル日本政府ノ取締ガ餘リニ嚴重デアル實際上ノ狀況ニ鑑ミマシテ、此ノ映畫法成立ノ際ニ當リマシテ、私ハ當局大臣トシテノ内務大臣ハ、政治ト云フモノヲ全然映畫カラ排斥セラレル御積リデアアルカ、或ハ只今申上ゲマシタヤウニ、適當ナル監督ノ制度ニ依ツテ之ヲ政治ニモ利用スルト云フコトヲ御認ニナル御方針デアアルカラ先ヅ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

○木戸國務大臣 此ノ問題ハ言葉ノ文デ中中ムヅカシイ所ガアルト思フノデアリマス、從來ハ映畫ヲ政治ニ利用スルトニ付キマシテハ、大體新聞ノ取締取扱ト同ジヤウナ取扱ヲヤツテ居ルノデアリマス、併シナガラ今後國民文化ノ進展ト云フヤウナコトカラ致シマシテ、幾ラカ國策的ニ之ヲ扱ヒマシ場合ニ、今日ト雖モ「ニュース」映畫ニ於テハ、隨分政府ノ重要ナル仕事ヲ「トリーキー」ニ撮リマストカ、或ハ國民ニ向ツテ致シマス精神總動員運動ノ映畫ニ付テ之ヲ「トリーキー」デ撮ルト云フヤウナ、國策ニ副ウテ行ハレマス所ノ所謂政治教育的ナ映畫ト云フモノハ是ハ今マデモ認メラレ

マシテ、今大臣ノ御説明デハ國策ヲ説明スル或ハ精神總動員ノヤウナ問題ニ付テハ之ヲ認メル、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、ソレデハ私ハ、考ヘヤウニ依リマスト甚ダ片手落ニナリ易イ、即チ時ノ政府ノシテ居ルコトヲ、非常ニ眞剣ナ公正ナ立場カラ批評シ監督スルト云フコトガ議會政治ノ本質デアアル、政争ト云フ、政權争奪ト云フ目的デナク、政府ハ神様デナイノデアリマスカラ、其ノ事ニ對シテ公平ナル批評ガアルト云フコトデ、初メテ一國ノ文化モ興リ一國ノ政治モ進展スルノデアリマスカラ、サウ云フ公平ナ政争ニ墮シナイヤウナ批評的政治論ト云フモノハ多少ハ緩和サレル方ガ、私ハ一國ノ文化政治ノ發展ノ上ニ宜クハナイカ、ソレナラバ檢閲官ノ方デ御手加減ヲナサレバ非常ナ弊害ナシニ行ハレルノデハアルマイカ、私ガ御伺シテ居ルコトハ「ラヂオ」ヨリ少シ裕トリノアルヤウニ此ノ映畫ト云フモノヲ御取扱ニナツタ方ガ、却テ國運ノ進展ニ寄與スルノデハナイカ、斯様ニ御伺致シテ居ル譯デアリマス

○木戸國務大臣 私ノ御答致シマシタ言葉ガ少シ足りナカツタノデアリマスガ、私モ當時ノ政府ノ者ノミ認メ、在野ノ者ハ認メナイト云フヤウナ考ハ持つテ居リマセヌ、

テ居リマス、今後ト雖モ此ノ點ニ付テハ左程特殊ナ嚴格ナ方針ヲ執ル考ハ持つテ居リマセヌ、唯政治ト云フコトカラ行キマシテ、色々ノ意味ニ於テ政争的ナ意味ニ用ヒラレルコトハハ勿論取締ラナケレバナラヌト思ヒマス、要スルニ此ノ法案ノ趣旨ガ國民文化ノ進展ト云フ意味ニ於キマシテ、此ノ廣イ意味ニ於テ國民ノ政治教育ト云フヤウナコトニ付テハ無論考慮致シテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、是ハ言葉ノ各頭ニアリマスル範圍ガ色々ニ違ツテ參リマシガ、大體サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○鶴見委員 只今ノ御説明デマダ私ノ腑ニ落チナイ點ハ、日本ニ於テ政治ト言ヘバ、政府ノ致シテ居ル政治ダケハ許スガ、政府以外ノ政治ハ許サナイト云フヤウナ感じガ起リ易イノデ、只今私ガ長々ト「ラヂオ」ノ例ヲ引キマシタノハソレデアリマシテ、政府ノ總理大臣ハ自分ノ政治政策ヲ「ラヂオ」デ發表シテ宜シイ、併シナガラ政府ノ政治政策ヲ批評スル最モ大切ナ仕事ヲ持つテ居ル在野ノ政治家ハ、之ヲ「ラヂオ」ニ依ツテ放送スルコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、「ラヂオ」ハ取締ガムヅカシイカラ、私ハ只今ノヤウニ一步譲ツテ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ映畫ニ付キ

マシテ、今大臣ノ御説明デハ國策ヲ説明スル或ハ精神總動員ノヤウナ問題ニ付テハ之ヲ認メル、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、ソレデハ私ハ、考ヘヤウニ依リマスト甚ダ片手落ニナリ易イ、即チ時ノ政府ノシテ居ルコトヲ、非常ニ眞剣ナ公正ナ立場カラ批評シ監督スルト云フコトガ議會政治ノ本質デアアル、政争ト云フ、政權争奪ト云フ目的デナク、政府ハ神様デナイノデアリマスカラ、其ノ事ニ對シテ公平ナル批評ガアルト云フコトデ、初メテ一國ノ文化モ興リ一國ノ政治モ進展スルノデアリマスカラ、サウ云フ公平ナ政争ニ墮シナイヤウナ批評的政治論ト云フモノハ多少ハ緩和サレル方ガ、私ハ一國ノ文化政治ノ發展ノ上ニ宜クハナイカ、ソレナラバ檢閲官ノ方デ御手加減ヲナサレバ非常ナ弊害ナシニ行ハレルノデハアルマイカ、私ガ御伺シテ居ルコトハ「ラヂオ」ヨリ少シ裕トリノアルヤウニ此ノ映畫ト云フモノヲ御取扱ニナツタ方ガ、却テ國運ノ進展ニ寄與スルノデハナイカ、斯様ニ御伺致シテ居ル譯デアリマス

○木戸國務大臣 私ノ御答致シマシタ言葉ガ少シ足りナカツタノデアリマスガ、私モ當時ノ政府ノ者ノミ認メ、在野ノ者ハ認メナイト云フヤウナ考ハ持つテ居リマセヌ、

在野デアリマシテモ、其ノ政治的ノ問題ガ、只今御話ノヤウニ、直接政争のナモノデナク所謂廣イ意味ノ政治教育ト申シマスカ、政治ノ常識ヲ與ヘルヤウナ意味ニ於テノ映畫ト云フモノハ、是ハ勿論認メル考デアリマス

○鶴見委員 大體只今ノ御説明デ諒承致シマシタ

次ニ私ハ本法案ノ法文ニ付テ御伺ヲ致シテ見タイト思フデアリマス、第一ニ御伺致シタイコトハ、本法十四條及ビ吾々ノ手許ニ參ツテ居リマスル命令案ノ第七ニ出テ居ル點デアリマス、即チ「映畫ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ檢閲ヲ受ケ合格シタルモノニ非ザレバ公衆ノ觀覽ニ供スル爲之ヲ上映スルコトヲ得ズ」即チ官廳ノ檢閲制度ト云フ點デアリマス、是ハ從來施行サレテ居リマシタ活動寫眞「フィルム」檢閲規則即チ大正十四年ニ出テ居リマスル内務省令ノ第一條ニモ大體現ハレテ居ルノデアリマスルカラ、特ニ新シイコトデハアリマセヌケレドモ、併シ此ノ業法全體ヲ通ジマシテ、此ノ點ガ一番大切ナ點ト思ヒマスノデ、此ノ點ニ付テ御伺シテ見タイト思フデアリマス、一國ノ文化ヲ或ハ思想ヲ作ツテ參リマス印刷トカ「ラヂオ」トカ映畫ト云フヤウモノ

ガ一番大キナ拘束ヲ受ケルノハ、政府ノ檢閲制度デアアルコトハ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、最近ニ至リマシテ印刷ニ依ル檢閲ハ餘程全世界ニ於テ寛大ニナツテ居リマスルケレドモ、「ラヂオ」如キハ只今デモ非常ニ日本デハ嚴格ナ檢閲ヲ致サレテ居ル、然ルニ今回ノ法律ヲ拜見致シマス、映畫ノ檢閲ト云フモノガ果シテドノ程度ノモノトナルカト云フコトガ、是ガ將來ノ日本ノ映畫ノ進運ニ關スル致命のナ重大ナ點デハナイカト考ヘルデアリマス、デアリマスルカラ映畫國策ト言ヒ、或ハ映畫立法ト言フ其ノ名ハ洵ニ堂々タル抽象のモノデアリマススケレドモ、併シ煎ジ詰メテ見レバ、其ノ映畫自身ガ一般公衆ノ眼ニ觸レルカドウカト云フコトハ、政府當局ノ檢閲ニ合格スルカ否カ決定ヲ致スノデアリマスカラ、詮ズル所其ノ檢閲ト云フコトガ映畫ノ生命デアアルト云フコトニナツテ參リマス、サウ致シマスルト、此ノ重大ナ文化ノ内容ヲ成ス所ノ映畫ト云フモノノ生命ヲ握ツテ居ルノハ檢閲官デアアル、斯様ナコトニナツテ參ルト思フデアリマス、隨テ檢閲官ノ頭腦ニ依ツテ將來ノ日本ノ映畫ト云フモノガ左右セラルノデアアル、斯様ナコトニナツテ參ルト思フデアリマス、ソレガ要スルニ

此ノ映畫法案ノ最モ重大ナ急所ニナツテ參ルト思フデアリマスガ、ソコデ私ガ主務大臣トシテノ内務大臣ニ御伺致シタイノハ、既ニ大臣ハ、映畫ガ印刷「ラヂオ」ト相並ブ文化進展、國策決定ノ三大機關ノ一ツデアルト云フコトヲ御認ニナツタノデアリマス、シテ見レバ、此ノ重大ナ映畫ノ生命ヲ預ツテ居ルノガ實ハ檢閲官デアアルト云フコトモ恐ラクハ御同感ヲ戴ケルト思フデアリマス、サウ致シマス、具體的ニ御伺致シタイノハ、ドウ云フ人ニ檢閲ヲサセル御積リデアアルノカ、從來ノ檢閲制度ハ、日本ノ映畫事業其ノモノガ未ダ十分ナル發達ヲ致サナカッタ當初カラ出來テ居ッタノデアリマスカラ、十分ナル豫算ヲ御取リニナルコトモ出來ズ、隨テ人員ノ配置モ満足ナコトノ出來ナカッタコトハ諒ト致シマススケレドモ、申スマデモナク日本ノ映畫ハ其ノ製造シテ居ル「フィルム」ノ長サニ於テハ世界一デアアル、此ノ點ハ世界ノ何處ノ國デ話ヲシマシテモ皆驚クノデアリマス、今ヤ世界ノ一番大キナ映畫國ニナツテ居ル日本ノ映畫ノ生命ヲ握ツテ居ル檢閲官ノ制度ニ付テ、將來ドウ云フ風ニ御扱ヒニナルノデアアルカ、若シ從來ト同ジヤウニ非常ニ少數ノ人ヲ檢閲官ニナサツテ、ソレノ主任ノ方ハ或ハ高等官ニ

等トカ四等トカデ、伺フ所ニ依レバ屢、警察部長ニ御轉出ニナル、サウスルト折角オナレニナツタ方々ガ直グ此ノ映畫ノ仕事カラ離レテシマフ、シテ見レバ實際映畫ノ檢閲ヲサレテ居ル人ハ或ハ事務官ノ方、或ハ其ノ下ニ居ラレル屬官ノ方デアアル、サウスルト堂々タル映畫法案トシテ社會ニ出シテ置キナガラ、實際ハ其ノ生命タル檢閲ノ仕事ハ極ク少數ノ方々ニ御任セニナル、斯ウ云フコトニナリ易イ、サウ致シマス、私モ長イ間役人ヲ致シテ居リマシタガ、日本ノ役人ノ誇ト致スコトハ、實ニ清廉潔白デ事務ニ忠實ナ點デアリマス、併シナガラ同時ニ斯ノ如キ清廉ニシテ事務ニ忠實デアルト云フ反面ニハ、仕事ガドウシテモ大事ヲ取リ過ギル、大事ヲ取リ過ギルト云フコトハ仕事ガ消極的ニナツテ、從來ノ慣例ヲ追フ形式的ナモノニナリ易イ、然ルニ映畫ト云フモノハ社會ノ尖端ニ立ツテ居ル最モ尖銳的ナ仕事デアアル、ソレヲ監督シテオ居デニナラレル少數ノ方々ガ、動モスレバ餘リニ仕事ヲ大事ニサレル爲ニ、用心深過ギル態度デ之ヲ御檢閲ニナリマス、勢ヒ切取ラナクテモ宜イヤウナ部分マデ「カット」ナサル、サウスルトソレガ映畫ノ指導方針トナツテ來テ、映畫ヲ作ル方カラ申セバ、サウ云フ風

ニ勝手ニ「カット」サレルカラ危イト云フコトカラ大事ヲ取ツタ映畫バカリ出來テ來ルト云フコトニナリマス、茲ニ社會全體ノ大キナ進運ガ、非常ニ狭イ管ヲ通ツテ來ルコトニナリマスカラ、此ノ重大ナ映畫ノ進歩發達ニ大變ナ障礙ヲ起スデハアルマイカ、デアリマスカラ斯ノ如キ重大ナル映畫法案ヲ御制定ニナツテ之ヲ實行ニナリ、只今内務大臣ノ仰セノヤウニ其ノ重大性ヲ十分ニ御認識ニナルト云フコトデアラナラバ、此ノ檢閲制度ノ機構自體ニ付テ、ドウ云フ御成案ヲ御持チニナツテ居ルカヲ伺ヒタイノデアリマス

○木戸國務大臣 只今御尋ノ點ハ洵ニ大事ナ所デアリマスガ、私ノ考ヘテ居リマスノハ少シ鶴見サントハ考ガ違ツテ居ルノデハアルマイカト思ヒマス、ト申シマスノハ鶴見サントノ御話デハ、檢閲ガ殆ド映畫ノ一番大切ナ點デアツテ、ソレニ依ツテ日本ノ映畫ガ左右サレルカノヤウナ御話デアリマシタガ、私ノ考ヘテ居リマスノハ、檢閲ト云フモノハ此ノ要綱ニ御示シ申上ゲマシタヤウニ、皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スルカ或ハ朝憲紊亂ノ思想ヲ鼓吹スルモノトカ云フモノデアリマシテ、割合ニ局限サレ消極的ナモノデアル、而シテ今後ハ映畫ハ事前檢査ト云

フ方法ニ依リマシテ「シナリオ」ヲ大體提出サセマシテ、能ク其ノ内容ヲ見ル、ソレカラ一面ニ於キマシテ會社ノ方ニモ幾ラカ餘裕ヲ付ケルヤウニ致シマシテ、今日ノヤウニ後カラ追ツカケ追ツカケ餘リ自信ノナイモノヤ、其ノ場限りノモノヲ出サナイヤウニスル、要スルニ映畫其ノモノノ筋書ナリ、又其ノ中ニ盛ラレマス所ノ文化的意義ヲ高ク上ゲテ行クト云フコトニ依リマシテ、事後ノ檢閲ニ付テハ只今ノヤウニ左程權限ヲ與ヘル必要ハナイト考ヘテ居リマス、尤モソレニ致シマシテモ只今ノヤウナ實情デハ、文化的ナ使命ヲ果スト云フコトニ付テハ勿論支障ガアルト存ジマスガ、今日ノ實際ノ問題ト致シマス、中々豫算モサウ取レルモノデハアリマセス、此ノ點ニ付テハ中々御希望ノウナヤ非常ニ優秀ナ檢閲官ヲ揃ヘルコトニ付テハ可ナリノ困難ガアルト存ジテ居リマス、率直ニ申上ゲレバサウナルノデアリマス、唯今申上ゲマシタヤウニ政府トシテハ寧ロ檢閲ニ重點ヲ置カズ、モット文化的ニ——第一製作者ノ頭ナリ、製作者ノ能力ナリ、ソレカラ餘裕ヲモット與ヘルト同時ニ、事前檢閲ニ依リマシテ「レベル」ヲ上ゲテ行クトニ依リマシテ、此ノ問題ハ解決スベキモノデアル、檢閲ニ餘

リ重點ヲ置クコトハドウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス
○鶴見委員 檢閲ニ餘リ重キヲ置カナイ、詰リ成ベク寛大ニスルト云フ御意見デアアルト存ジマスガ、ソレハ洵ニ結構ナコトデアルト存ジマス、併シ私ハ重ネテ尙ホ大臣ニ特ニ御願ヲ致シテ置キタイコトハ、國費多端ノ際デ御困難トハ存ジマスガ、今日ノ豫算ヨリハ少クトモ御殖ヤシニナツテ、檢閲官自身ガ非常ニ高尚ナ、一生ノ事業トシテ、安心シテ此ノ道ニ御精進ナサレルヤウニシテ、檢閲官ヲシテ居レバ其ノ儘デ榮進ヲシテ行カレルヤウナ途ヲ御考ヲ戴イテ、檢閲事業ニ障礙ノ起ラナイヤウニシテ戴キタイト思フノデアリマス、是ト關聯ヲ致シマシテ私ハ内務大臣ニ御伺致シタイコトハ、佛蘭西トカ獨逸トカ或ハ亞米利加等ニ於キマシテハ、檢閲官ノ中ニ官吏以外ノ者ヲ非常ニ採用致シテ居リマス、ソレハ先程申上ゲマシタヤウニ、何處ノ國ニ於キマシテモ、官吏ノ性質トシテ 非常ニ事ヲ慎重ニ期スルト云フコトガ大切ナコトデアリマスカラ、其ノ美點ガ又一方デ弱點ニナリ易イ、故ニ斯ノ如キコトヲ避ケル爲ニ、比較的自由ナ位置ニ在ル人々ヲ檢閲官ノ中ニ採用ヲ致シテ居ルヤウデアリマスガ、斯ノ如キコ

トモ多少御參酌ニナリマシタナラバ、或ハ映畫事業ノ進歩ト並行スルヤウナ檢閲制度ガ行ハレテ行クノデハナイカトモ思フノデアリマス、今大臣ハ檢閲ニ付テハ重キヲ置カスト仰シヤイマシタガ、亞米利加ノ如キアア云フ比較的自由ナ國ニ於テモ、檢閲ヲ非常ニ重要視シテ居ルヤウデアリマス、デアリマスカラ亞米利加一ノ政治家、將來ハ大統領ノ候補者ト言ハレタ「ウィルヘイス」ガ遞信大臣ノ位置ヲ捨テテ映畫事業ノ中心人物トナツタノハ、ドウシテモ大人物ガ映畫事業ニ坐ツテ居ナイト、亞米利加ノ檢閲制度ガ餘リヤカマシイモノデアリマスカラ、其ノ間ノ調節ヲ取ル爲デアツタノデアリマス、是ハ亞米利加ノミニ限ラナイヤウデアリマスカラ、大臣ガオ居デノ間ハ今ノ御考デ行カレルデアリマセウガ、併シナガラ將來如何ナル大臣ガ御見エニナルカモ分リマセヌシ、其ノ時ニ檢閲ト云フ大キナ利刀ヲ御持チニナツテ居ルノデアリマスカラ、ヤハリ御考以外ニ、政府ノ制度自身ニ付テモ今申上ゲタヤウナ融通性ヲ御考ヲ戴キタイ、今一ツ御伺シタイコトハ、例ヘバ獨逸ニ於キマシテ、映畫ニ對シテ不服ノアル場合ニハ控訴出來ルヤウニナツテ居リマス、又伊太利ニ於テモヤハリ抗告スルコトガ出

來ルヤウニナツテ居リマス、ソレマデニシ
テ此ノ檢閱制度ニ過チナカラシコトヲ期シ
テ居ルヤウデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ
如何ニ御考ニナリマセウカ

○木戸國務大臣 只今ノ檢閱官ノ構成等ニ
付テノ御尋デアリマス、是ハ勿論私ガ申上
ガマシタノハ大體ノ方針デアリマシテ、檢
閱官ノ中ニ文藝的ナ諒解ヲ持つ人間ガ居リ
マスコトハ勿論必要デアリマス、又現在デ
モ必要ガアリマス、ソレノ專門家ノ意
見ヲ徵シテ慎重ヲ期シテ居ル次第デアリマ
ス、今後トモ只今御話ノヤウナ點ニ付テハ
十分考ヘテ行キタイ、又將來此ノ映畫ヲ取
扱ヒマス當局ニ付テハ必然的ニ相當ノ強化
充實ヲ圖ラナケレバナラヌト考ヘマス

○町村政府委員 只今ノ御話ノ檢閱再審制
度ト申シマスカ、或ハ抗告制度ト云フヤウ
ナ點ニ付キマシテモ、内務省ト致シマシテ
ハ從來カラ此ノ問題ヲ色々考究ヲ致シテ居
リマス、今日マデノ所我國ニ於キマシテハ
業者側カラ特ニ現在ノ檢閱制度ニ對シマシ
テ諸外國デ執ツテ居リマスヤウナ方法ニ依
ツテ貫ヒタイト云フヤウナ意見ナドハ餘リ
多ク聞カレナイヤウナ状態デアリマスノデ、
吾々ト致シマシテハ今日マデノ所ハ此ノ問題
ニ付キマシテ今直チニ諸外國デ執ツテ居リ

マスヤウナ方法ヲ採用スルト云フ意向ハ持
ツテ居ラナイノデアリマス、併シ今後此ノ
問題ニ付キマシテハ政府ト致シマシテハ一
層考究ヲ致スベキ問題デアラウトハ考ヘテ
居リマス

○鶴見委員 只今ノ御説明デ諒承致シマシ
タ、次ニ私が伺ヒタイコトハ、本法案ノ二
十條ニ關スル點デアリマス、即チ官吏ノ臨
檢ト云フコトデアリマス、臨檢ト申シマス
レバ、詰リ巡查ガ實際上映畫常設館ニ出テ
參ルト云フコトデアルト思ヒスガ、此ノ臨
檢ト云フコトハ唯法文上カラ眺メマスレバ
極ク簡單ナコトデアリマスケレドモ、本
案ノ内容トシテハ非常ニ重大ナコトデハナ
イカト思フノデアリマス、私モ今マデ度々
選舉ヲシテ居リマス、選舉法ト云フモノハ
洵ニ堂々タルモノデアリマスガ、實際選舉
ヲ致シタ者カラ見レバ、此ノ堂々タル選舉
法ノ内容中一番恐シイモノハ實ハオ巡リサ
シノ態度デアリマス、少クトモ從來ハサウ
デアツタノデアリマス、此ノ映畫常設館ノ
ヤウナ場合ニ於キマシテハ、吾々代議士候
補者ヨリモモツト弱イ商賣デアリマスカラ、
隨テ警官ノ臨檢ト云フモノハ、餘程重大ナ
ル意義ヲ持ツテ居ルノデアリマス、一體臨
檢ト云フモノヲ致シテ居ルノハ世界中私が

映畫ヲ觀タ範圍ニ於テハ日本ダケデアルト
思フノデアリマスガ、臨檢ト云フモノハ唯
法文カラ見レバ是ダケノモノデアリマス
レドモ、實際上ノ取扱ニ於テハハ非常ナ
權力ヲ持ツテ居ルモノデアリマス、デアリ
マスカラ私ハ左様ナコトノナイコトヲ希望
致シマスケレドモ、臨檢ト云フ力ヲ利用致
シマシテ、當事者ガ弱イ所ノ興行者ヲ窘メ
ルト云フヤウコトガ起ツテ參リマスルト、
折角文化向上ノ爲ニ作ラレタル此ノ法案ノ
實體ガ害ハレテ來ルヤウニナル、即チ臨檢
ノ目的ハ恐クハ映畫事業ヲ指導シ、其ノ中
ニ居ル所ノ見物或ハ業者ヲ保護スルノ目的
カラ出サレルモノト思ヒマスガ、是ガ兩刃
ノ劍デアリマシテ、保護スル者ガ時トシテ
ハ特ニ苛烈ナル取締トナツテ、姑ガ嫌ヲ窘
メルヤウナコトガ全然起ラナイトモ思ハレ
ナイト思フノデアリマス、斯ノ如キコトニ
關シテハ主務大臣タル内務大臣カラ餘程十
分ノ御注意ヲ願ハナイト、此ノ點カラ種々
ノ弊害ヲ生ズル惧レガアルノデハナイカト
存ジマスカラ、此ノ點ニ付テ大臣ノ御意見
ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 只今第二十條ノ當該官吏
ノ臨檢ニ付テノ御尋デゴザイマシタガ、是
ハ御話ノ通り此ノ法律ノ性質上カラ申シマ
シテモ之ヲ非常ニ廣ク烈シク使フト云フ意味
ハ毛頭ゴザイマセス、唯此ノ法案ニモゴザイ
マスルヤウニ危害豫防デアルトカ、衛生其ノ
他公益保護ノ必要カラ之ヲ出スト云フコト
モアルノデアリマス、サウ云フ場合ニ主トシテ
此ノ臨檢ヲサレルコトト思フノデアリマス、
此ノ映畫ノ指導ヲ致シマストカ、製作ニ對
シマシテノ連絡ヲ取ルヤウナ意味ニ於テヤ
リマス場合ニ於テハ、ソレハ何モ臨檢ト云
フヤウナ所謂刀ヲ振廻ハス必要ハナイノデ
アリマス、只今申シマシタヤウニ、之ヲ使
ヒマスル場合ハ極メテ狭イ範圍ニ於テ行ハ
レルコトト考ヘテ居リマス、左様ナ意味ニ
於テ指導シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○鶴見委員 私ノ只今御尋致シマシタノ
ハ、臨檢ト云フモノガ、只今大臣ノ御話ニ
ナツタ目的ノ範圍外ニ出ナイヤウニ、大臣
ノ方カラ其ノ趣旨ノ徹底スルヤウニ地方長
官ニ特ニ御訓示デモ戴ケルカドウカト云フ
コトヲ御尋シタノデアリマス

○木戸國務大臣 本法案施行ニ當リマシテハ、
十分其ノ點ヲ當該官廳方面ニハ示シマシテ
行過ギノナイヤウニ致シタイト思ヒマス
○鶴見委員 只今外務大臣ガ御見エニナリ
マシタガ、實ハ尙ホ内務大臣ニ御伺シタイ
點モアルノデアリマスガ、ドチラノ大臣ガ

御急ギニナツテ御退席ニナルカ伺ヒマシテ、御急ギノ方ノ大臣ニ先ヅ御伺シタイト思ヒマス

○星島委員長 ソレデハ外務大臣ノ方ニ御願致シマス

○鶴見委員 是ハ外務大臣ニ關係ノアルコトデアリマスケレドモ、質問ハ内務大臣ニ致スノデアリマス、併シ此ノ内容ハ外務大臣ニ關係スルコトデゴザイマスカラ、此ノ點カラ先ヅ御尋ヲ致シテ、同時ニ外務大臣ニモ此ノ點ヲ御聽取ヲ戴キタイト思フノデアリマス、ソレハ本法ノ十三條ノ規定デアリマス、「映畫ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ檢閲ヲ受ケ合格シタルモノニ非ザレバ之ヲ輸出スルコトヲ得ズ」又其ノ第二項ニ於テ「輸出ノ制限又ハ禁止」ノ規定ガ付イテ居ルノデゴザイマス、即チ輸出映畫ノ檢閲ト云フコトデアリマス、是ハ命令案ノ第六項ニモヤハリ此ノコトガ細カク規定サレテ居リマス、ソレカラ昭和十年十月二十一日ノ内務省令第六十三號ニ於テモ此ノ點ニ付テ規定ガアルノデゴザイマス、此ノ點ニ付テ私ハ内務大臣ニ御伺致シタイト思フノデアリマスガ、輸出映畫ガ外國ニ如何ナル影響ヲ與ヘルカト云フ點デアリマス、私ガ一昨年來米國ニ參ツテ見テ居リマス所ニ依リマ

スト、只今支那カラ參ツテ居リマス映畫ト云フモノガ日本反對ノ氣勢ヲ非常ニ煽ツテ居ル、ソレカラ只今カラ十年前頃カラ、日本カラノ輸出映畫ト云フモノガ亞米利加各地ノ常設館デ實ニ頻々トシテ上映サレテ居ツタノデアリマス、所ガ之ヲ亞米利加ダケノ立場カラ見テ居リマスルト、外國カラ入ツテ來ル映畫ト云フモノガ實ニ色々ナ種類ノモノガ參ツテ居ル、殊ニ日本カラ亞米利加ニ參ツテ居ル映畫ヲ吾々日本人ガ見テ居リマス時ニ、或ル時ハ實ニ良イ映畫ガ來タト思ツテ喜ブ時モアリ、或ル時ハ實ニ困ツタ映畫ガ來タモノデアアル、折角有能ナ外務大臣ガ國交ノ爲ニ御努力ヲナサイマシテモ、ソレガ一般ノ亞米利加ノ大衆ニハ中々響カナインデアリマスガ、映畫トナツテ參リマススト、是ハ既ニ此ノ頂戴致シテ居ル數字ニモアリマスヤウニ、一年二十億ヲ超ユル程ノ亞米利加人ガ見テ居ル、延人員デソナニ澤山ノ人數ノ者ガ見テ居ルト云フ譯デアリマスカラ、サウ云フ人々ガ日本カラ來テ居ル映畫ヲ見テ受ケテ居ル印象ト云フモノハ實ニ廣汎デアリ、且ツ深刻ナモノデアルト思ヒマス、所ガ其ノ當時モヤハリ内務省ニ於テ輸出ノ檢閲ヲシテ居ラ

マシタ日本映畫ノ例ヲ二三申上ゲマス、ト一番頻々トシテ出テ來ルノハ實ハ藝者ノ映畫デアリマス、而モソレモ可ナリ吾々カラ見テ藝術的デナイヤウナ、田舎ノ藝者ノ映畫ガ出テ居ツタリ、或ハ私今モ記憶シテ居リマスガ只今宗教法案デ審議シテ居リマスカラ、淫祠邪教ト云フヤウナモノニ、日本ノ人ガ大勢御詣リシテ居ル場面ガ出テ來ル、皆ガ來テオビンヅル様ヲ撫デテ行クト云フヤウナ場面ガ出テ來ル、外國人カラ見テモ非常ニ印象ノ惡イ偶像ヲ置イテアル所ヘ日本ノ人達ガ大勢行ツテソレヲ拜シテ居ルノヲ見ルト、吾々日本人ハ肩身ノ狭イ思ヒヲ致スノデアリマス、アア云フヤウナ映畫ヲ何故外國ニ許可ヲシテオ出シナツタカト不思議ニ思フヤウナ場合ガ屢アル、而モサウ云フ場合ガ多イノデアリマス、何故カト申セバ、興行者ノ立場カラ言ヘバ、成ベク珍ラシイ方ガ物見高ク人ガ集ツテ來テ、金錢ノ收入ガ多イノデアリマスカラ、勢ヒサウ云フモノヲ出シタガルガ、外交關係ノ立場カラ言ヘバ、サウ云フモノヲ成ベク出シタクナイ、モウ一ツ私ガ見マシタ中デ非常ニ良イト記憶シテ居リマスノハ、日本船ガ多分「カムチャツカ」ノ近海ニ於テ鯨ヲ追ツテ居ル光景デアリマスガ、實ニ

勇壯ナ又はハ藝術品トシテモ立派ナモノデアリマシタ、ソレダケノ立派ナモノガ日本映畫トシテ出テ居ルノニ、サウ云フモノヲ送ラナイデ、オビンヅル様ヲ拜シテ居ル映畫ヲ亞米利加ヘ送ツテ、日支事變ガ起ルト日本人ハ野蠻人ダト言ハレデ怒ツテモ始マラナイ、斯ノ如キ映畫ガ外國ノ一般大衆ニドウ云フ影響ヲ與ヘルカト云フコトヲ、一番能ク知ツテオ居デニナルノハ、日本ニ於テハヤハリ外務省デハナイカト思フノデアリマス、勿論内務省デモ其ノ掛リノ人ハサウ云フコトニ付テ、普段御研究デアリマセウガ、外務省ノ方々ハ早クカラ外國ヲ御旅行ニナツテ、其ノ御取扱ニナツテ居ル仕事ノ關係上、外國人ノ國民性、或ハ其ノ嗜好ヲ研究シテ居ラレルノデアリマスカラ、外務省ノ方々ガ御覽ニナレバ、オビンヅル様ノ場合ヲ澤山オ出シナラナカッタデアラウト、斯様ニ私ハ當時カラ考ヘテ居ツタノデアリマス、ソレデ私伺ヒタイノハ、此處ニ書イテアル此ノ輸出映畫ノ檢閲ニ際シマシテ、行政官廳ト第一項ニ書イテ、第二項ニハ主務大臣ハト書イテアリマス、此ノ主務大臣ト云フコトハ、恐ラクハ内務大臣ト云フコトデアラウト思ヒマス、此ノ行政官廳ト云フ所ハ命令ノ規定ニ依リマス、ト、地方

長官ニモ御委譲ニナルヤウニ見エテ居リマスガ、サウ云フ譯デ内務省ノ方々ダケデ之ヲ檢閲シテオ居デニナル結果ハ、斯ノ如キ廣汎ナル害毒ヲ及ボシテ居ルヤウナコトモアルノデアリマス、何故此ノ際ニ同ジ官廳デアル外務省ヲ御加ヘニナラナイカ、現ニ軍ノ機密ヲ保持スル必要上、憲兵隊カラ人ヲオ招キニナツテ檢閲ニ參加セシメテ居レルト云フコトヲ伺ツテ居ルノデアリマス、然ラバソレヨリモツト關係ノ深イ外務省ノ方々ヲオ入レニナルト云フコトヲ何故ナサラナイノデアルカ、又ナサツタ方ガ宜イノデハナイカ、デアリマスカラ主務大臣ト云フ下ニ、主務大臣及外務大臣ハト御書加ヘ戴クコトガ不都合デアラウカ、サウ云フ風ニナリマシタ方ガ、只今申上ゲタヤウナ目的ヲ貫徹スル上ニハ宜イノデハナイカ、是ハ私ガ自分デ外國デ見マシタ所ノ實感ヲ申上ゲテ、非常ニ大切ナ點ト存ジマスルカラ特ニ内務大臣ノ御意見ヲ伺ヒマシテ、同時ニ是ハ外務大臣ニモ御聽キヲ願ヒタイト存ジタ次第デアリマス

○木戸國務大臣 只今ノ點ハ洵ニ御尤デアリマス、私モサウ云フヤウナ話ヲ能ク聞クノデアリマス、例ヘバ夏ノ御祭ノ映畫ナンカヲ見マシテ一種ノ野蠻人カ何カノ映畫ヲ

見テ居ルヤウナ感ジヲスルト云フコトヲ聞カサレテ、非常ニ肩身ガ狭カツタト云フ話ヲ或人カラ聞カサレテ居リマス、御話ノ點ハ十分注意シナケレバナラスト思ツテ居リマス、今御話ノヤウニ、外務省ト連絡ヲ取ツタラドウカト云フ點ニ付テハ、勿論取ルコトハ差支ナイノデアリマシテ、只今ノ點ニ付テハ取ツテ行カウト思ヒマス、唯其ノ點ダケデ外務大臣ヲ書加ヘル必要ハナイノデアリマシテ、大體兼務ナリ何カノ形式デ參加シテ貰ヘバソレデ宜カラウト思ヒマス、サウ云フ意味ニ於テ運用上外務省トノ連繫ヲ今日ヨリモツト密接ニシテ、只今ノヤウナ弊害ノナイヤウニ致シタイト思ヒマス

○鶴見委員 勿論法律ノ運用ニ付テハ主務大臣ガ適當ニ御計ヒニナルト存ジマスルシ、主務大臣カラ既ニサウ云フ御言明ガアル以上彼此レ申シマセヌガ、先程モ申上ゲテ居リマスヤウニ、是ガ法文化サレル、或ハ内閣ノ申合せニ依ツテ明文化サレル場合ニ於キマシテハ、大臣ノ御更迭ニ依ツテ次ノ大臣ニ依ツテ變ルコトハナイト思ヒマスガ、ソレヲ何カノ方法デ成文化シテ明瞭ニ歷代内閣ノ御方針ト云フヤウニ決メテ戴ケバ、此ノ點ニ關スル危險ガ除去サレルノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、如何

ナモノデアリマスガ

○木戸國務大臣 御趣旨ハ全然同感デアリマス、十三條ノ所謂行政官廳ノ檢閲ト云フノハ、是ハ内務省ガ其ノ檢閲權ヲ持つテ居リマス、其ノ外ニ外務省ニ檢閲局ヲ置クト云フコトデナイ限リハ、御互ニ兼務ヲ致セバ出來ル譯デアリマス、サウ云フ意味デ申上ゲタノデアリマス、サウ云フコトニナルト別段内閣ガ更リマシタ場合ニ、外務省ノ兼務ヲ解ク必要ハナイ、斯ウ云フコトハ行政上澤山アル、サウ云フ意味ニ於テ運用シテ行キタイト思ヒマス

○鶴見委員 是ハ直接外務省ノコトニナツテ參リマシタシ、幸ヒ外務大臣モ御出席デアリマスカラ、只今ノ點ニ關聯シテ御同致シマスガ、私ノ只今述べマシタヤウナ點ニ付テ、外務大臣ハ如何ニ御考デアリマスガ、伺ヒタイ、又只今内務大臣御答ノヤウニ、内務省ノ方カラ外務大臣ニ對シテ協力ヲ求メラレタ場合ニハ、之ニ應ジ得ルト云フ御考デアルカドウカラ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○有田國務大臣 外國ニ關聯致シマスルコトニ付テハ、外務省ハ進シデ各省トノ間ニ連絡ヲ取ツテ行キタイト考ヘテ居リマス、獨リ映畫ノ問題バカリデナク、其ノ他例ヘ

バ日獨、日伊ノ文化協定等ノ締結ニ依ツテ、又内地ノ色々ナ省トノ間ニモ問題ヲ生ズルコトモアルト思フノデアリマス、是等ノ外國關係ノ問題ニ付キマシテハ、外務省トシテ進ンデ勿論連絡ヲ取ツテ、弊害ノ生ズルコトノナイヤウニシテ戴キタイト思ツテ居リマス

○鶴見委員 尙ホ此ノ點ニ關聯シテ、私ガ内務大臣ニ御聽シテ置キタイコトハ、文化映畫ト一般映畫ト成ベク區別シテ御取扱ヲシテ戴キタイ、殊ニ文化映畫ニ付テ、輸出スル場合ハ特別ナ考慮ヲ拂ツテ戴キタイト思フノデアリマス、其ノ次ニ私ハヤハリ是モ外務大臣ト直接關係ガゴザイマスカラ、簡單ニ内務大臣ニ御尋シテ、外務大臣ニモ聽イテ戴キタイノデアリマスガ、輸入映畫ノ場合デアリマス、輸入映畫ハ第十四條ト第十六條トニ書イテアリマスヤウニ、其ノ輸入ノ檢閲ハ大藏省ノ稅關デシテ居ルヤウデアリマスガ、愈々輸入サレタ映畫ガ上映サレルニ當リマシテ、内務省ノ檢閲ヲ受ケテ、又其ノ制限ヲ受ケテ居リマス、然ルニ此ノ輸入映畫ト云フモノハ唯大藏省ガ稅關ヲ通シタ、内務省ガ之ノ檢閲ヲシテ、宜シイト言ツタト云フダケデ、一般ノ日本國民ニ御見セニナリマス、是ガ爲ニ往々ニシ

テ國交上ノ問題ヲ生ズルコトガアラウト思フノデアリマス、或ル國ノ使臣ガ之ヲ聽イテ非常ニ遺憾トシテ、或ハ外務省ニ對シテ何か申出ルヤウナコトモ起ツタカモ知レズ、又起リ得ルト思フノデアリマスカラ、此ノ輸入映畫ニ付テハ、ヤハリ外務大臣ニモ一通リノ御相談ニナツテ連絡ヲ取ラレル必要ハアルマイカ、斯様ニ思フノデアリマスカ、如何デスカ

○木戸國務大臣 先程モ申上ゲマシタヤウニ、映畫ノ檢閲ニ付キマシテハ、必要ガアリマスレバ事ノ性質ニ依リマシテ各方面ノ専門ノ方、又只今モ御話ノヤウニ外務省ニハ今日デモ常ニ御相談ヲシテヤツテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ、例ヘバ只今ノヤウナコトガ豫想サレルヤウナ映畫ノ場合ニハ、勿論外務省ト十分ノ連絡ヲ取りマシテ、態度ヲ決定スルコトニ致シテ居リマス、從來トモサウ云フ場合ニハ、サウ云フ風ナ方針デヤツテ居ル次第デアリマス、今後ハ尙ホ一層其ノ點ニ付キマシテ、各關係省ト密接ナ連絡ヲ取りタイト思ツテ居リマス

○鶴見委員 次ニ私ハ外務大臣ニ御尋ヲ致シタイ點ガアルノデアリマスカ、最近ニ於キマシテ日本反對ノ反日映畫ト云フモノガ、色々各國デ出來テ居ルヤウデアリマス

ガ、其ノ所謂反日映畫ト考ヘラレルモノヲ上映シテ居ル國ハドウ云フ國デアルカ、又ドウ云フ題名ノモノデアルカ、又ドウ云フ人々ガ之ヲ製作致シテ居ルカヲ伺ヒタイノデアリマス、現ニ私共ガ亞米利加ニ居リマシテ、映畫館ニ參リマシテ非常ニ感ジマスコトハ、今日ノ亞米利加一般大衆ノ反日的ノ氣分ノ一番重大ナ部分ハ、時事映畫カラ來テ居ルト思フノデアリマシテ、此ノ亞米利加ノ常設館デ殆ド毎日時事映畫ノ中ニハ例外ナシニ必ズ一ツハ日支事變ヲ上映シテ居リマスガ、是ガ非常ナ反日的ナモノデ、恐ラクハ特ニアア云フ映畫ヲ作ツタモノト思ヒマスガ、ソレヲ毎日々々亞米利加人ハ見テ居リマスカラ、日本ノ軍事行動ニ付テ、大變ナ誤解ヲシテ居ルト思フノデアリマス、就キマシテハ、今申上ゲマシタ上映國ト、題名ト、製作者ニ付テ御分リデアリマスカラ、ソレニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○有田國務大臣 政府委員カラ答辯致サセマス

○清水政府委員 只今鶴見君カラノ御質疑ニ對シマシテ御答ヲ致シマス、排日映畫ニ對シマシテ、上映國竝ニ題名等ノ御質疑デアリマスカ、大分數ガ多イノデアリマスカラ、此處デ讀ミマスカ、或ハ表ニシテ差上

ガル方ガ宜シウゴザイマスカ、ドナラガ宜シウゴザイマスカ

○鶴見委員 表ニシテ頂戴シテ結構デゴザイマス

○清水政府委員 ソレデハ表ニシテ差上ゲルコトニ致シマス

○鶴見委員 是モ外務大臣ニ御伺致シタイノデアリマスカ、映畫ノ中デ國交上面白クナイト考ヘラレテ、上映禁止ヲ要望シテ來タ國ガアリマシタカドウカ、若シアツクト致シマスナラバ、其ノ國ノ名前ト其ノ映畫ノ題名ト、又之ニ對シテ政府トシテ御執リニナツタ處置ヲ御伺シタイ、併セテ私ガ御伺シタイノハ、外國デ上映サレテ居ル映畫ニシテ、甚ダ日本ニ取ツテ國交上面白クナイト考ヘラレル映畫ニ對シテ、日本政府カラ同様ナ申込ヲナサツタコトガアルカドウカ、之ヲ御伺シタイトデアリマス

○清水政府委員 私カラ代ツテ御答辯ヲ致シマス、國交上面白カラズト致シマシテ、上映禁止ヲ要望シテ參リマシタ國名竝ニ種類ニ付テ、概要ヲ申上ゲマス、獨逸カラ話ノアリマシタノハ、最近ノ問題デスカ「地獄ノ天使」ト云フノデアリマス、是ハ獨逸側ト交渉ノ結果、或ル一部分ヲ「カット」シテ上映サセテ居リマス、佛蘭西カラ話ノア

リマシタノハ「難航」ト云フ映畫デアリマシテ、是ハ輸入ニ對シテ不許可ニナリマシタ、「イラン」カラ要求ノアリマシタノハ「印度ノプーラン・ドクト」ト云フノデゴザイマシテ、是ハ禁止致シマシタ、「サルバドル」カラ「オ前ノ誕生ハ何日カ」ト云フ映畫ニ付テ交渉ガアリマシテ、是ハ日本ニ輸入サレズニ濟ンダノデアリマス、概要四ツホドデアリマス

更ニ日本カラ各國ニ對シマシテ、不利益ナ映畫デ、上映ヲ差控ヘテ貫ヒタイト云フコトハ數多ク要求シテ居リマス、後ニ表ヲ差上ゲマスガ、其ノ中ノ大部分ハ日本カラ交渉シテ居ルノデアリマス

○鶴見委員 今一ツ私ハ外務大臣ニ御伺致シテ置キタイトデアリマスガ、外務大臣カラ議場ニ於テ屢々御聲明ノアリマシタヤウニ、東亞新秩序建設ノ爲ニ日滿支三國ノ互助連環ノ體制ヲ作ルノデアルト云フ話デアツテ、勿論吾々皆贊同致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ一ツトシテ映畫ノ如キモノハ大變ニ影響ヲ持ツノデハナイカト思フノデアリマス、日本ノ國情ヲ滿洲及ビ支那ニ知ラシムルコトガ、殊ニ支那ニ於ケル民衆ノ日本ニ對スル良好ナル感ジヲ持ツ上ニ役立ツモノト思フノデアリマスカラ、此ノ映畫

行政ニ關シテハ日滿支三國間ニ相當ノ連絡ヲ取ルト云フコトヲ、御考慮ニナツテ居ラレルカ如何デアルカ、又考慮シテモ宜イト云フ風ニ御考ニナルカドウカラ伺ツテ置キタイノデアリマス、私ノ希望ト致シマシテハ、日滿支三國ニ於テハ少クトモ日本ノ映画ヲ十分ニ見セタイ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、ソレニ付テ大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○有田國務大臣 現在國產映画デアリマシテ滿洲並ニ支那ニ輸出セラレテ居リマスモノハ、相當數量ニ達シテ居ルノデアリマシテ、益々増加ノ見込デアリマスガ、只今鶴見君カラ御話ノ新秩序建設ト云フ風ノ關係カラ申シマシテモ、映画ヲ利用スルコトハ最も效果的デアリマスカラ今後ハ機會ノアリマスル毎ニ、日滿支三國ノ映画行政ヲ連絡ヲ緊密ニ致シマシテ、日本ノ國產映画ノ製作ニ當リマシテモ、及ブ限リ斯ル趣旨ヲ強調シタ内容ヲ盛ラシムルヤウニ指導シ、又滿洲支那ニ於テ製作セラレマシタ映画ヲ日本ニ於テ配給シヨウトスル際ニハ、其ノ特例ヲ設ケマス等、適切ナル處置ヲ講ジテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマシテ、目下考慮中デアリマス

○鶴見委員 只今ノ御答辯デ了承致シマシ

タ、是デ私ノ外務大臣ニ對スル質問ハ終了致シタノデアリマス

尙ホ丁度文部大臣モオ見エニナツテ居リマスカラ内務大臣及ビ文部大臣ニ今少シ御伺ヲ致シタイノデアリマス、私ガ内務大臣ニ御伺致シタイ點ハ本法第十七條ノ規定デアリマス、是ハ命令第十三ニヤハリ出デ居ルノデアリマスガ、ソレハ入場者ノ範圍ニ關スル制限ノ規定デアリマシテ、言ヒ換レバ十四歳未満ノ少年少女ハ映画常設館ニハ入レナイヤウニシヨウト云フ政府ノ御方針ノヤウニ承知致スノデアリマス、所ガ只今日本ニ於ケル映画觀覽者ノ數ハ先日頂戴致シマシタ資料ニ依ルト、昭和十二年末ニ於テ約三億、只今ハモツト殖エテ居リマセウガ、サウ云フ非常多數デアリマス、其ノ三億ノ觀客ノ中デ十四歳未満ノ少年少女ノ數ガ約五千万乃至六千万ニ及ブト云フコトデアリマス、サウ致シマスト、本法十七條ニ依ツテ十四歳未満ノ少年少女ガ入レナイト云フコトニナリマスルト、一方ニ於キマシテハ五千万乃至六千万ノ觀客ヲ失フノデアリマスルカラ、興行トシテノ損失デアルト云フコトハ勿論デアリマスガ、又一方ニ於テ起ツテ來ル社會的ノ影響ガ非常ニ大キナモノガアルト思フノデアリマス、本法ノ精

神ハ刺戟ヲ受ケ易イ少年少女ニ最も刺戟的デアル所ノ映画ノ惡影響ヲ及ボシタクナイ、斯様ナ御精神カラ出テ居ルト云フコトハ明瞭デアリマスガ、同時ニ映画カラ非常ニ善良ナ影響ヲ受ケルト云フコトモ勿論考ヘ得ルノデアリマス、ソコデ私ガ先ツ内務大臣ニ御伺ヲ致シ、次ニ文部大臣ニ御伺致シタイト思ヒマスコトハ此ノ點デアリマス、即チ本法ニ依ツテ十四歳未満ノ少年少女ガ常設映画館ニ行ケナクナル、併シ是等ノ人々ニモ映画ノ良キ影響ダケハ與ヘタイ、斯様ニ考ヘマス場合ニハ於テ如何ニシテ是等ノ年齡期ノ人々ニ映画ノ教育ヲ御施シニナル積リデアルカ、直チニ想像サレルコトハ少年向ノ映画ヲ作ト云フコトデアリマス、併シナガラ是ハ色々文藝作家や或ハ映画製作者カラ聽イテ見マシテモ——一體文藝作品ヲ作ル場合ニモ、少年向ノモノヲ書クト云フコトハ一番困難ナ仕事デアルヤウデアリマス、文章デ之ヲ書ク場合ニモ、話デ之ヲ致シマス場合ニモ十四歳以下ノ少年ニ叫ビ掛ケテ行クト云フコトハ非常ニ難カシイモノデアリマスカラ、映画ニ於キマシテモ少年ニ向ク映画ヲ作ルト云フコトハ非常ニ困難ナコトデアアル、時トシテハ大人ニ向ク映画デ少年ニ向ク映画モ出來得ルデアリマセウガ、

サウ云フ場合ニハソレガ少年ノ方ニ向クカ、大人ノ方ニ向クカデ、同時ニ觀客ヲ失ツテシマフト云フコトノヤウニ聞イテ居リマス、隨テドウシテモ少年映画ヲ特別ニ作ラナケレバナラス、所ガ少年映画ヲ作ルト云フコトハ非常ニ難カシイモノデアリマスカラ、之ヲ一般興行者ニ任シテ置イテハ到底出來ナイ、興行者ハサウ云フモノヲ作ツテモ引合ハナイ、ソコデ政府ノ方デ非常ナ決心ヲナサツテ少年映画ト云フモノニハ損ヲシテモ構ハヌ、政府デ補助金ヲ出シテヤラセルト云フコトデナケレバ到底少年映画ト云フモノハ出來ナイモノデハナイカト想像サレルノデアリマス、外ニ二大文化機關デアル「ラヂオ」ト新聞ニ付キマシテハ、今日ニ於キマシテモ十四歳以下ノ少年少女モ之ヲ通シテ知識ト娛樂ヲ得テ居ルノデアリマス、然ルニ非常ニ大キカ知識供給並ニ娛樂提供ノ機關デアル映画ト云フモノカラ、十四歳以下ノ少年少女ガ省カレテシマフト、是ハ日本ノ教育上カラ言ヒマシテモ、是等ノ人々ニ高尚ナル娛樂ヲ與ヘル上カラ言ツテモ、私ハ本法ノ一ツノ缺陷デハナイカト思フノデアリマス、此ノ缺陷ヲ政府ハ如何ニシテ補ハレル積リデアルカ、私ガ第一ニ内務大臣ニ御伺シタイコトハ、如何ニシテ十四歳以下ノ少年ニ

對シテ映畫ノ善良ナル影響ヲ及ボサウト云フ御積リデアルカ、文部大臣ニ御同致シタイコトハ、此ノ映畫ニ依ツテ十四歳以下ノ少年ニモ非常ニ善良ナル教育ヲ及ボシ得ルモノト思フノデアリマスガ、教育上ノ價值ニ付テ御同ヲシ、同時ニ文部大臣トサレテハ、多數ノ十四歳以下ノ少年少女ヲ預ツテ居ラレル文教ノ責任者トシテ、此ノ映畫ノ取締即チ十四歳以下ノ少年少女ガ行ケナクナルカラ將來ノ取扱ヲドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ラレルカ、此ノ二點ヲ兩大臣ニ御同致シタイノデアリマス

○荒木國務大臣 其ノ御尋ハ過般モ此處デアツタノデアリマス、御答ハシタノデアリマスガ更ニ概要ダケヲ申上げマス、御話ノ通り十四歳以下ノ者ガ映畫カラ受ケル利益ノ多イコトハ、其ノ種類ニモ依リマセウシ、又今日マデノ映畫ニ依ツテモ可ナリ多イノデアリマス、併シナガラ他方ニ是カラ受ケル惡イ感受性モ否ムコトガ出來マセヌ、各家庭ニ於テ斯ウ聞クノデアリマス、單ニ刺戟ヲ受ケルノミナラズ映畫館ノ設備、其ノ他ガ健康ニ害ガアリ、風俗ニ害ガアル、殊ニ非常ナ疲勞ヲ與ヘト云フコトヲ承ルノデアリマス、是等ヲ考ヘマシテ大切ナ少年竝ニ青年前期ニ對シテ十分ナ效果ヲ舉ゲル

爲ニハ、今御話ノ如ク特殊ナモノヲ製作スルコトモ必要ダト存ジマス、又今日マデアノモノノ中デ撰擇致シマスナラバ、少年期ノ者ニ與ヘテ差支ナイモノモアラウト思ヒマス、大人ガ見ルモノガ悉ク少年ニ禁ゼラレルト云フ譯デハナイ、其ノ中カラモ適當ナモノモアラウカト思ヒマス、又製作ニ當ツテハ、御話ノ通り可成リ困難ガアリマス、過般モ申述ベマシタガ、高速度ノモノヲ用ヒマシテ映畫ニ依ツテ天然ノ教育ヲスル、天然ノ狀態ヲ知ラセル、或ハ青少年ニ適應シタ所ノ感受性ニ應ズルモノヲ撰擇スルト云フコトモ必要デアルガ、此ノ技術ハ御話ノ通り困難ダラウト思ヒマスカラ、是等ニ付テノ獎勵ヲスルト云フコトハ、可成リ苦心ヲ要スル所デアリマス、青少年ノ感受性及健康性ヲ考ヘルナラバ、國策トシテモ考慮シテ行カナケレバナラスト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、又是ノ普及ニ付テハ、直チニ青少年向ノ映畫ヲ造ルト云フコトモ、採算ノ上カラハ非常ニ困難ダラウト思ヒマス、國立デヤラウト云フコトモ今日ノ狀態ニ於テハ直チニ實施ガ出來ナイコトデアリマス、隨テ巡廻ヲ致シマスとか、學校ヲ利用致シマスとか、適當ナ時期ニ適當ナ方法ヲ以テ、子供ノ頭ニ影響ノ多イ時期ニ於テ之ヲ適當

ニ施行致シマス場合ニハ——例ヘバ國トシテモ大キナ記念日モアリマセウシ、國祭日モアリマセウシ、學校等ニ於テ各種ノ機關ヲ利用シテ之ヲ普及スル方法ヲ講ジテ行キタイ、是モ考ヘラレマスケレドモ、是ニハ財政、技術等モ伴フコトデアリマスノデ、逐次是等ヲ爲サナケレバナラストデアルト思ヒマス、今日映畫ガ遅レテ居ルト云フコトハ誰シモ感ズル所デアリマスノデ、國策トシテ斯様な法律ヲ出シタ以上ハソレニ對シテ全力ヲ擧ゲテ向上ヲ圖ツテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○鶴見委員 私ガ御伺スル根本ノ點ハ、文部省ニ於テ十分ナル補助費ヲ御出シニナルヤウニ豫算ヲ取ツテ戴キタイト云フノガ眼目デアリマシテ、恐ラク文部大臣モ御同感ノコトト思ヒマスカラ、將來其ノ點ニ付テ御努力ヲ戴キタイト要望ヲ致シテ置キマス
次ニ私ガ御同致シタイ點ハ十九條ニアリマス所ノ映畫委員ニ關スル點デアリマス、主務大臣ガ内務大臣ト文部大臣ノ御二方ニナルノデアアルカト云フコトヲ伺ツテ置キタイ、映畫委員會ト云フモノハドウ云フヤウニ構成サレルノデアアラウカト云フコトヲ御同致シタイノデアリマス、檢閲ノ點ニ付テ申上ゲタヤウニ、獨逸、伊太利、佛蘭西、

亞米利加等ニ於キマシテハ、非常ニ廣汎ナル範圍カラ人ヲ採ツテ社會ノ進運ニ對應スルヤウナ制度ヲ執ツテ居リマスガ、殊ニ映畫委員會等ノ如キモノハ重要ナル役目ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、是ハ廣汎ナル範圍カラ御採リニナツテ、此ノ社會ノ尖端ニ立ツテ居ル映畫文化ト云フモノガ遅レナイヤウナ委員會ヲ御作り願ヒタイト思フノデアリマス、此處デハ唯諮問機關ニナツテ居リマスガ、ヤハリ相當ノ權限ヲ御與ヘニナツテ之ヲ御活用ニナルコトガ、冒頭ニ於テ私ガ希望致シマシタヤウナ映畫國策樹立ノ上ニ非常ニ重大ナ關係ヲ持ツノデハナイカト思ヒマスカラ、此ノ點ニ付テ御意見ヲ御同シタイ、若シ又私ノ希望ヲ申セバ先程申述ベマシタ映畫ノ檢閲ニ關スル上告機關トシテ此ノ映畫委員會ノ如キモノヲ御利用ニナツタナラバ、製作者ノ側ニ於テモ、一般社會ニ於テモ安心ヲスルノデハナイカト思ヒマスガ、之ニ付テ内務大臣及ビ文部大臣ノ御答辯ヲ得レバ仕合セデアリマス
○木戸國務大臣 第十九條ノ映畫委員會ノ主務大臣ト云フコトニ付テ第一ノ御尋デアリマスガ、是ハ大體内務大臣、文部大臣、厚生大臣ト云フコトニナルト思ヒマス、ツレカラ此ノ構成ニ付テハ、先般モドナタカ

ラカ御尋ガゴザイマシタガ、御話ノ通り映画ノ性質上カラ申シマシテモ、成べく廣範圍ニ委員ノ選任ヲ致シマシテ、所謂衆智ヲ集メテヤリタイト思ヒマス。

ソレカラ最後ノ御尋ノ、之ヲ一ツノ上告ノ機關ニシテハドウカト云フヤウナ御尋デアリマシタガ、其ノ點ニ付テハ先程政府委員ヨリモ御答辯ガアリマシタヤウニ、今日政府ハ其ノ點ヲ考ヘテ居リマセヌ、隨ヒマシテサウ云フ機關ヲ若シ必要トスル場合ニハ、自然又映画委員會ノ構成内容ガ變ル譯デアリマス、今日ト致シマシテハ、要スルニ此ノ映画委員會ノ構成ハ、主務大臣ノ諮問ニ應ズルト云フコトト、ソレカラ委員會自體ニ建議ヲ致ス權限ヲ與ヘマス、ソレ等ノ點ヲ考ヘマシテ、十分適正ナル構成ヲ作リタイト考ヘ居リマス。

○鶴見委員 次ニ文部大臣ニ御伺致シタイノデアリマスガ、日本ニ於テ唯映画ト云フ文字ヲ聞クダケデ、一般世間ハ何トナク之ヲ非常ニ輕ク視ルト云フ感ジガマダアルト思フノデアリマス、ソコデ其ノ結果ト致シマシテ、此ノ大切ナ文化的ナ役割ヲ持ツテ居ル映画ノ監督デアルトカ、俳優デアルトカ「カメラマン」ト云フヤウナ人々ノ社會

的ノ地位ノ非常ニ低イコトヲ、私共ハ遺憾トスルノデアリマスガ、今回ノ登録制度ニ依ツテ、此ノ點ハ改善サレルコトト思フノデアリマスガ、勿論ソレ等ノ人々ガ從來ノヤウナ粗製濫造ニハナラナクナリ、又登録ニ依ツテ責任感ヲ發生スルデアリマセウケレドモ、私ノ文部大臣ニ御伺致シクイコトハ、更ニモツト積極的ニ、是等ノ監督トカ、俳優トカ、「カメラマン」等ノ人々ノ地位ヲ向上セシメテ、社會的文化的ニ貢獻セシメルヤウナ途ヲ開ク方法ニ付デアリマス、即チ文部大臣ノ名ニ於テ是等ノ人々ヲ表彰サレルコトモ一ツデアリマス、併シナガラ又既ニ我國ニ於テハ、先般文化賞ガ出來テ、文化ニ貢獻シタ人々ニハ斯ノ如キ國家ノ表彰ガ行ハレテ居ル、又文藝人ノ中ニハ、帝國藝術院ニ入ツテ勅任待遇ヲ受ケテ居ルト云フヤウナコトモアルノデアリマスカラ、此ノ一番大切ナ役割ヲ果シテ居ル監督、俳優、「カメラマン」等ノ地位ヲ社會的ニ引上ゲテヤルト云フコトガ、映画ノ本質ヲ向上セシムル上ノ具體策トシテ大切デハナイカト存ジマスガ、之ニ付テノ御意見ヲ伺ヒ、同時ニ只今ノヤウナ具體的ナ方法ニ付テ、何カ御考ガアレバ伺ツテ置キタイト存ジマス。

○荒木國務大臣 各方面共ニ向上ノ爲ニサウ云フ御議論ガ出ルノデアリマスガ、現在ノ狀態ニ於テ、直チニ之ニ或ハ名譽ノ地位ヲ與ヘルトカ、或ハ之ニ對シテ特殊ノ表彰ヲスルト云フヤウナコト、サウ云フコトカラ將來ニ對シテ十分映画ノ效果ヲ大ナラシメルコトノ必要ハ感じテ居リマスカラ、之ニ對シテハ、或ハ此ノ間カラモ御議論ガアリマシタガ、學校ノヤウナモノヲ作ツテ其ノ素質ノ向上ヲ圖リ、眞チニ社會教育若クハ社會事業ノ一ツトシテ活躍シ得ルダケニ向上セシメルコトガ必要デハアルマイカ、サウ云フヤウナコトト相俟ツテ、只今ノコトヲ考慮スル必要ガアルノデハナイカ、又此ノ間モ御話ガアツテ傾聴致シタノデアリマスガ、是等ノ人々ニハ特殊ナ生活狀態ガアリ、特殊ナ氣分ガアリ、氣合ガアルコトハ、藝術家ニ於テ親ハレル所デアリマセウ、ソレハ他ノ標準ト同時ニ考ヘルト云フヤウナコトデ世間ガ考ヘマス、是亦間違ヒデアルト云フコトモ至極御尤デアルト思フノデアリマス、サウ云フヤウナコトヲ考ヘテ、ドウ云フコトガ是等ノ人々ガ一番能ク活動シ得ル途デアルカト云フコトヲ別ニ考ヘテ、只今ノヤウナコトヲスルコトガ必要デハナイカ、何レニシテモ是ノ活動及ビ將來ノ總テノ此ノ方面ノ向上ニ對スルコトトシテハ、

之ニ携ハル人々ノ取扱ニ付テハ十分ニ考慮ヲシテ、今御述べニナツタヤウニ、進ンデ其ノ任ニ自ラ當ルト云フヤウナコトニスルコトガ必要デアルト考ヘテ居リマス。

○鶴見委員 私ノ殘餘ノ質問ハ、總理大臣ニ御伺シタイノデゴザイマスカラ、之ヲ以テ大體私ノ只今御出席ノ大臣方ニ對スル質問ハ終了致シマシタ、殘餘ノ質問ハ留保致シマシテ、是デ大體終了致スコトニ致シマス。

○星島委員長 一寸鶴見君ノ御質問ニ關聯シテ御尋シタイト思フノデアリマスガ、先程內務當局ト外務當局トノ間ニ於テ、密接ナル連絡ヲ取ツテ檢閲ヲスルト云フ御答デアツタノデアリマスガ、現在モソレハヤツテ居ラレルコトト思フノデアリマスガ、檢閱ニ關シテ、私ハ外務當局ニ殊ニ御伺シタイト思フノデスガ、先ツ輸入ノ爲ニ稅關デ檢閲ヲ受ケ、又上映ノ爲ニ內務省デ檢閲ヲ受ケ、又輸出ノ場合ニ外務省ニ於テ檢閲ヲ受ケルト云フ、實ニ不統制ナノデアリマスガ、現在ノ機構連絡、或ハ今後檢閲ニ付テ統制アリ、且ツ殊ニ外務當局ガ輸出映画ニ關シテ檢閲官トシテ入ラレテ、サウシテ發言權ガアルヤウニサルベキデアラウト思フノデアリマスガ、サウ云フコトニ付テノ、

内務省ニ外務當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 只今ノ輸出映畫ノ點ニ付キマシテハ、外務省ト密接ナル連絡ヲ取りマシテ仕事ヲシテ行ク積リデアリマス、其ノ點ハ全然御同感デアリマスガ、所謂檢閲官トシテ一ツノ仕事ヲ持ツテヤルコトニナリマスカ、或ハソコニ參加シテ意見ヲ述ベルト云フ程度ニナリマスガ、其ノ點ハ未ダ政府トシテモ關係當局ニ於テ打合セヲシテ居ラヌト存ジマス、隨ヒマシテ其ノ點ハ十分考慮シテ、今後對處シテ行キタイト存ジマス

○清水政府委員 只今内務大臣カラ御答辯ガアリマシタガ、外務當局トシテモ其ノ點希望シテ居リマスガ、何レ内務當局ト能ク協議致シマシテ、内務當局ト相談ノ上デ決定致シタイト存ジマス

○星島委員長 尙ホ檢閲機關ノ統制ヲサレルヤウニ希望ヲ申上ゲテ置キマス——次ニ赤松君ニ關聯質問ヲ許シマス

○赤松委員 檢閲制度ニ付テ關聯質問ヲ致シマスガ、檢閲ノ今マデ「シナリオ」ノ檢閲ト「フィルム」ノ檢閲、即チ事前檢閲ト事後檢閲ト二ツアリマスガ、事前檢閲ヲ或ル人ガヤル、サウシテ是ガ「シナリオ」ニナル、ソ

レブ事後檢閲ハ他ノ人ガヤルト云フコトニ今マデナツテ居ルサウナノデアリマス、是ハ初メ臺本ノ檢閲ヲシマス際ニ、隨分削ラレテ、サウシテ「フィルム」ヲ作ツタラ又他ノ人ガ來テウント削ラレルト云フヤウナコトハ、甚ダ良イ映畫ヲ作ル上ニ於テ困ルコトデアツテ、是ハドウシテモ檢閲ト云フモノハ一元的ニ、或ル機關ヲ以テスル、サウシテ臺本デ初メ檢閲ヲ受ケル場合ニ於テモ、其ノ臺本ヲ通ジテ、是ハドウ云フ映畫ガ生レルノダト云フコトヲ、其ノ檢閲官ノ「セン」ニ依ツテ大體想像シテ、ソレガ良キ映畫ニナツテ「フィルム」ニナツタ場合ニ、初メ檢閲官ノ想像シタ其ノ範圍ヨリモ非常ニ違ツタモノデアラナラバ、是ハ削ラナケレバナラスガ、大體ニ於テ其ノ通りデアルト云フコトデアレバ、ソレヲ「パス」スルト云フヤウニシテ、事前檢閲ト事後檢閲ト同一ノ機關ニシテ一元的ニスルコトガ私ハ妥當ダト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ御方針ヲ將來御執リニナツタラ宜イト思フノデアリマスガ、ソレニ對スル内務大臣ノ御所見ヲ伺ヒマス

○木戸國務大臣 サウ云フヤウナ考デアアルノデアリマス、今回事前檢閲ヲスルト云フ意味ハ、從來動トモスレバイキナリ映畫ヲ檢閲致シマシテ——既ニ上映ノ廣告ヲ出シテ居ルト云フヤウナコトデアリマスカラ、無理モシナケレバナラス、又ソシナヤウナ狀況デアリマスカラ、自然其ノ映畫其ノモノモ非常ニ價值ノ低イモノガ多イノデアリマス、隨ヒマシテ今後ハ事前檢閲ヲ致シマスト云フコトハ、要スルニ只今御話ノヤウナ文化的ノ價值其ノ他ニ付テノ檢閲ヲ致シマスト共ニ、大體ニ於キマシテ不都合ナ點ガナイナラバ、是ハ必ズ次ノ上映ノ檢閲ノ際ニモ同ジヤウナ意味ニ於テ認メラルベキモノデアルト思ヒマス、唯問題ハ細カクナリマス、例ヘバ同ジ「シナリオ」ニ於テハ書イテアリマシタコトガ、其ノ動作ノ上ニ於テ極端デアリマス場合ニ之ヲ「カット」スルト云フヤウナコトハ、是ハアルマイト思ヒマスガ、大體ハ其ノ方針ニ依リマシテ、事前檢閲ヲ經マシタモノガ筋書カラ色々點ヲ變更サレルト云フヤウナコトハ當局トシテモ考ヘテ居リマセヌ、ソレ等ハ十分調和ヲ取りマシテ、要スルニ事前檢閲ト云フコトヲ設ケマシタコトガ、一層業界ヲシテ仕事ノ上ニ困難ヲサセルト云フヤウナコトハ一ツモ考ヘテ居リマセヌ、其ノ點ハ十分注意シテ事前檢閲ト云フモノヲヨリ效果的ニシタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○赤松委員 今ノ内務大臣ノ御説明デ能ク諒承シマシタ、文部大臣ニ今ノ鶴見サンカラノ件ニ付テ一寸關聯質問ヲシタイト思ヒマス、今ノ映畫ニ關係シテ居ル者ノ文化的地位カラ、之ヲ非常ニ優遇シ保護シナケレバナラスト云フ點デアリマスガ、其ノ一點トシテ、鶴見サンノ意見ノ中ニモ東亞新秩序ノ新シイ良イ映畫ヲ作ラナケレバナラスト云フコトデアリマスガ、今日ノ所謂映畫監督ガ支那モ知ラナイ、滿洲モ知ラナイ、極メテ視野ガ狭イト云フ教養ノ狀態ニ於テ、東亞新秩序建設ノ立派ナ映畫ヲ作ルト云フコトハ無理デス、ソレハドウシテモ私ハ良イ映畫ヲ作ラウト思ヘバ、監督ナンカノ教養ヲウント高メテ、其ノ視野ヲウント廣クシナケレバ立派ナ映畫ヲ作レルモノデヤナイノデアリマシテ、色々ナ註文ヲ出シテモ、現在ノヤウナ狀態デハ私ハ註文ガ餘リ酷デアルト思ヒマスルガ、殊ニ「コンマーシヤリズム」ニ支配サレテ居ル所ノ今日ノ映畫企業家ノ下ニ於テハ、逆モサウ云フ風ナ監督自身ガ色々ナ教養ヲ高メルヤウナ保證マデ與ヘルコトハ困難デアリマスカラ、斯ウ云フ機會ニ政府ノ方デ、將來ノ日本ノ映畫ト云フモノノ分野ガ、東亞ノ協同體ノ方ニ擴ツテ行キ、支那人ガ見テモ滿洲人ガ見

テモ日本人ガ見テモ有效デアルト云フヤウ
ナモノヲ作ルガ爲ニハ、ヤハリ映畫ノ監督
ノ優秀ナ連中位ハ一ツ政府ノ費用デ大陸ノ
見學位ハサセテ、サウシテ得タ所ノ見聞ニ
依ツテ映畫ニ非常ナ影響ヲ與ヘルナラバ、
映畫ガ一般大衆ニ與ヘル影響ハ重大ナルモ
ノガアルノデアリマスカラ、其ノ位ノ優遇
ハ當然シテ宜イノデヤナイカ、其ノ程度ノ
コトヲシナケレバ折角良イ優秀ナ映畫ヲ作
ラウト云ツタ所ガ、法文ダケ作ツテ魂ガ入
ラスト云フコトニナルノデアリマスカラ、
差當リ色々ナ方法ガアリマセウケレドモ、
一ツ映畫監督位ハ大陸ノ知識位ヲ十分ニ吸
收サセテヤルト云フヤウナ御方針ヲ御執リ
ニナツタ宜イト思ヒマスガ、文部大臣如
何デゴザイマスカ

○荒木國務大臣 優遇ト申シマスカ、指導
ト申シマスカ、今ノヤウナ優秀ナル國策的
映畫ヲ作ル爲ニハ、ソレ位ノコトヲ考ヘナ
ケレバナラスト思ヒマス、其ノ他澤山色々
トアラウト思ヒマスルガ、大陸ヲ見ルト云
フヤウナ場合ニ對シテノコトハ、一ツ研究
モシテ、出來得ルナラバサウ云フコトニヤ
ルヤウニ導イテ參リタイト思ヒマス
○星島委員長 本日ハ此ノ程度デ終リマシ
テ、出來マスレバ明日モ午後續行シタイト

委員長ハ考ヘテ居リマスケレドモ、中々部
室ガナイノト、速記ガ足ラナイノデ、十分
ニ御希望ニ副ハスト思ヒマス、又明日ハ内
務大臣ノ御出席ガ出來ナイト申出ガアリマ
シタガ、外務大臣其ノ他ノ當局ニ期待シテ
居リマスガ、若シ出來マシタナラバ續行シ
タイト思ヒマスカラ、公報ヲ以テ御知ラセ
致シマス、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス

午後零時三十五分散會

昭和十四年三月十三日印刷

昭和十四年三月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局